

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度

教科 国語

科目 論理国語

教科: 国語

科目: 論理国語

単位数: 3

単位対象学年組: 第3学年 A組

使用教科書: (『精選論理国語』(東京書籍))

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論理的思考力を育むために必要な語彙力を向上し、文や文章の効果的な構成や展開についての理解を深める。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理展開を的確に捉え、主張や要旨を把握する力を身につける。また、主張や要旨に対して批判的に検討し、それらを踏まえて自分なりの意見を伝える力を高める。	言葉のもつ価値への理解を深め、他者と協働しながらコミュニケーションを通して言葉を使うことで言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 言葉を再考する 【知識及び技能】 ・「アイデンティティ」「差異」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 ・引用や具体例と筆者の主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者が幼少時に考えた「表音文字」と「表意文字」の違いを読み取り、説明している。 ・従来の記号学における記号観と、その範疇を超える言語記号の特殊性を、各具体例に即して理解し、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえたうえで、人間の思考や認識と「言語」の関連性について	・一人1台端末の活用 ・言語の特質について ・記号の特質について ・具体例と筆者の主張の関係について			○	【知識及び技能】 ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで多言語文化の中で育った筆者の体験と、「言語の環世界」の考察についての関連性を捉え、学習課題に沿って人間の思考や認識と言語についての見方を広げようとしている。 ・粘り強く具体例と筆者の主張の文章構造をつかみ、学習の見通しをもって言語の持つ文化形成力について、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	16

	の見方を深め、説明しようとしている。									
	定期考査						○	○		1
	B 単元 近代という時代 【知識及び技能】 ・譲歩のかたち、対比や要約表現、同義表現の反復(言い換え)や項目立てなどを理解し、それらの重要性について説明している。 ・「近代」という概念語について、辞書的な意味だけでなく「近代」の中心的な考え方を捉えて、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「近代科学の自然観」における「二元論的な認識論」を捉え、「環境問題」との関連性を理解して主要な論点を読み取り、説明している。 ・各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の理解を踏まえて、人間の自然観・社会観という新たな視点から環境問題について捉え直し、自分の考えを深め、説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・「近代」という概念について ・環境、自然について ・文章構成について			○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 ・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く近代の二元論の自然観と環境問題とのつながりを捉え、学習課題に沿って環境問題に対する視野を広げようとしている。	○	○	○	17
	定期考査						○	○		1
2 学期	C 単元 メディアを問い直す 【知識及び技能】 ・情報化社会を題材とする文章を読み、自分の考えと比較・検討することで、読書の意義について理解を深め、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張と、同テーマの他の文章を相互に関連	・一人1台端末の活用 ・メディアについて ・現代における読書について ・複数の資料を読み比べる			○	【知識及び技能】 ・新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 ・「読むこと」において、設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報	○	○	○	16

	づけながら、書物の在り方について考えを深め、根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、自分にとっての本の存在や普段の書き言葉との関わり方を振り返り、情報化社会における本の在り方について、自分の考えを的確に論述しようとしている。				を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の主張と、その論拠となる具体例を捉え、学習の見通しをもって自分の日常生活に引き寄せて社会の発展に伴う本の在り方について、自分の考えを明確にして論述しようとしている。				
	定期考査					○	○		1
	D単元 他者のいる思考 【知識及び技能】 ・事例や他の言説の引用・根拠と主張の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・理想化・単純化した見方を相対化して、多様性を示す筆者の視点を理解し、自分の知識や経験を見つめ直して物事の捉え方に対する自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容から筆者の考えを読み取り、社会の歴史的見方について要約し、自分の意見もまとめようとしている。	・一人1台端末の活用 ・「他者」という概念について ・単純化と多様性について ・段落間のつながりを読み取る方法について			○ 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで原始社会の見方についての筆者の主張を理解し、学習の見通しをもって社会に対する歴史的見方や考え方を深めようとしている。	○	○	○	17
	定期考査					○	○		1
3 学 期	E単元 困難な時代に 【知識及び技能】 ・文章の対比構造や具体例(現象)とその一般化の関係を読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文化の崩壊と「近代性」の関連について、歴史的な展開を捉えて読み取り、説明している。 ・分かりづらいつと感じたところを質問のかたちにながら、内容に即した意味段落	・一人1台端末の活用 ・情報社会について ・意味段落の分け方とその根拠について			○ 【知識及び技能】 ・文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事例と引用を用いた論の展開を確かめながら主張を捉え、知性の意義について自分の考えを深める。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながらい、要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に二項対立による論理展開から筆者の主張を理	○	○	○	17

	に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本文の内容を踏まえて、情報技術がもたらす社会への影響について、身近なSNSなどの問題に引き寄せて考察を深め、考えたことを説明しようとしている。				解し、今までの学習を生かして情報技術がもたらした功罪について、身近なSNSなどの問題を踏まえながら、考察を深めようとしている。				
F単元 自己と社会 【知識及び技能】 ・問題提起とその答え、言い換え表現や指示語の内容を的確に読み取り、筆者の主張を理解し、説明している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文の中心的主張やその根拠にかかわる内容に対して「論証の問い」を考え、説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、その論拠を批判的に考察し、自己の社会的視点を深め、説明しようとしている。	・一人1台端末の活用 ・言い換え表現や指示語の読み取りについて ・「自己」という概念について			○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・人間の社会性と倫理観についての筆者の考察を理解し、人間に対する理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで人間の社会的欲望と倫理的努力に対する筆者の主張を読み取り、学習課題に沿って他者との関係性の構築について、自分の考えを述べようとしている。	○	○	○	17
定期考査						○	○		1 合 計 105

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地歴公民 科目 政治経済

教科: 地歴公民 科目: 政治経済

単位数: 2単位対象学年組: 第3学年A組

使用教科書: (『最新政治・経済』実教出版)

教科 地歴公民の目標:

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に捉えて理解し、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明する。構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を身につける。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	現代日本の政治 【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、日本国憲法の特徴などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、日本国憲法の特徴などについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 個人の尊厳と基本的人権の尊重、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

	現代日本の政治② 【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
2 学 期	現代日本の経済 【知識及び技能】 経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となったのはなぜか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	現代日本の経済② 【知識及び技能】 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決させる。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 戦後復興から高度経済成長の終焉までの日本経済の変遷と産業構造の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	現代の国際政治・経済 【知識及び技能】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめさせる。 【思考力、判断力、表現力等】	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、取り				13

	現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かわせる。		上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 現代日本における政治・経済および国際政治の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○	○	○	
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学科 科目 数学Ⅲ
教科: 数学 科目: 数学Ⅲ 4単位数: 単位対象学年組: 第3 学年A組

使用教科書: (数学Ⅲ(数研出版))

教科 数学の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅲの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元: 関数 【知識及び技能】 (ア) 分数関数、無理関数の定義について理解し、関数を適切に変形して、そのグラフをかくことができること。 (イ) 分数関数、無理関数のグラフと直線の共有点の座標が求められること。 (ウ) 分数不等式、無理不等式を解くことができる。 (エ) 逆関数、合成関数の定義を理解し、種々の関数の逆関数を求められること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 分数関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できること。 分数不等式の解を、分数関数のグラフと直線の下上関係に読み替えて考察できること。 (イ) 無理関数 $y = \sqrt{ax}$ のグラフを放物線の一部として理解し、対称移動の考え方で $y = -\sqrt{ax}$ などのグラフを考察できること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元: 関数 【知識及び技能】 (ア) 分数関数、無理関数の定義について理解し、関数を適切に変形して、そのグラフをかくことができる。 (イ) 分数関数、無理関数のグラフと直線の共有点の座標が求められる。 (ウ) 分数不等式、無理不等式を解くことができる。 (エ) 逆関数、合成関数の定義を理解し、種々の関数の逆関数を求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 分数関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できる。 分数不等式の解を、分数関数のグラフと直線の下上関係に読み替えて考察できる。 (イ) 無理関数 $y = \sqrt{ax}$ のグラフを放物線の一部として理解し、対称移動の考え方で $y = -\sqrt{ax}$ などのグラフを考察できる。	○	○	○	15

無理関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できること。 無理不等式の解を、無理関数のグラフと直線の上下関係に読み替えて考察できること。 (ウ)逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察できること。 2つの関数を続けて作用させた関数を、合成関数という1つの関数として考察できること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。 (イ)方程式の同値変形について考察し、理解を深めようとする。 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。 (ウ)逆関数、合成関数の考え方に興味、関心を示すこと。		無理関数のグラフと直線の共有点の座標を、連立方程式の実数解に読み替えて考察できる。 無理不等式の解を、無理関数のグラフと直線の上下関係に読み替えて考察できる。 (ウ)逆関数の定義から、逆関数の定義域・値域や性質を考察できる。 2つの関数を続けて作用させた関数を、合成関数という1つの関数として考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。 (イ)方程式の同値変形について考察し、理解を深めようとする。 方程式や不等式の考察に、積極的に関数のグラフを活用しようとする。 (ウ)逆関数、合成関数の考え方に興味、関心を示す。				
A 単元: 極限 【知識及び技能】 (ア)数列の収束、発散について、記号や用語を正しく理解していること。 収束する数列の極限値の性質を理解し、それを用いて、数列の極限が求められること。 不定形を解消するように数列の式を変形することにより、数列の収束、発散を調べることができること。 (イ)無限等比数列の極限が求められる。また、無限等比数列の収束・発散を利用して、さまざまな数列の極限が求められること。 無限等比数列の収束条件を理解し、それを利用できる。 漸化式で表された数列の一般項を求め、その極限値が求められること。 (ウ)数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散をその部分和から調べられること。 無限等比級数の収束、発散を、公比の値で調べられる。また、無限等比級数の収束条件を理解し、それを利用できること。 無限級数の和の性質について理解し、それを用いて無限級数の和が求められること。 無限級数の収束、発散を判定する条件を理解し、それを利用できること。 (エ)関数の極限に関する用語・記号を正しく理解し、$x \rightarrow a$ や $x \rightarrow \infty$, $x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限を求めることができる。 不定形を解消するように関数の式を変形することにより、関数の極限を調べることができること。		A 単元: 極限 【知識及び技能】 (ア)数列の収束、発散について、記号や用語を正しく理解している。 収束する数列の極限値の性質を理解し、それを用いて、数列の極限が求められる。 不定形を解消するように数列の式を変形することにより、数列の収束、発散を調べることができる。 (イ)無限等比数列の極限が求められる。また、無限等比数列の収束・発散を利用して、さまざまな数列の極限が求められる。 無限等比数列の収束条件を理解し、それを利用できる。 漸化式で表された数列の一般項を求め、その極限値が求められる。 (ウ)数列の極限であることを理解し、無限級数の収束、発散をその部分和から調べられる。 無限等比級数の収束、発散を、公比の値で調べられる。また、無限等比級数の収束条件を理解し、それを利用できる。 無限級数の和の性質について理解し、それを用いて無限級数の和が求められる。 無限級数の収束、発散を判定する条件を理解し、それを利用できる。 (エ)関数の極限に関する用語・記号を正しく理解し、$x \rightarrow a$ や $x \rightarrow \infty$,	○	○	○	24

関数の右側極限, 左側極限を調べ, 関数の極限の有無について調べられること。 指数関数, 対数関数の極限が求められること。 (オ) 簡単な三角関数の極限を求めることができる。 $\sin x/x$ の極限が利用できるように関数の式を変形することにより, 三角関数を含む関数の極限を求めることができること。 (カ) 義に基づいて, 関数の連続性, 不連続性を判定することができること。 閉区間で連続な関数が最大値, 最小値をもつことを理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 工夫して式変形することにより, 数列の極限を求めることができること。 数列の極限が簡単に求められない場合に, 数列の極限の大小関係(はさみうちの原理)を用いて, 極限が求められること。 (イ) 無限等比数列の極限を, 公比の値で場合分けして考察できること。 漸化式で表された数列の項の決まり方を, グラフを利用して視覚化することで, 極限を考察できること。 (ウ) 無限等比級数の収束, 発散を, 既習である等比数列の和の極限を調べることで考察できる。 繰り返しを含む図形的な問題を, 無限等比級数を活用して考察することができること。 循環小数が無限等比級数の形に表されることを理解し, 無限等比級数の考えを用いて, 循環小数を分数で表すことができること。 (エ) 関数の極限について, 数列の極限における考え方との類似点と相違点を理解していること。 関数の極限について, グラフなどで直観的に考察できること。 極限值をもつ関数の係数決定に関しては, 等式を成り立たせるための必要条件を求めて, その十分性をチェックすることで関数の式の係数を決定することができることを理解していること。 (オ) 関数の極限が簡単に求められない場合に, 関数の極限の大小関係(はさみうちの原理)を用いて, 極限が求められること。 三角関数の極限を応用して, 図形的な問題を考察することができること。 (カ) 中間値の定理が成り立つための条件を正しく理解し, 解の存在の証明に活用することができること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア) 簡単な無限数列の極限を, グラフなどで直観的に考察しようとする。		$x \rightarrow -\infty$ のときの関数の極限を求めることができる。 不定形を解消するように関数の式を変形することにより, 関数の極限を調べることができる。 関数の右側極限, 左側極限を調べ, 関数の極限の有無について調べられる。 指数関数, 対数関数の極限が求められる。 (オ) 簡単な三角関数の極限を求めることができる。 $\sin x/x$ の極限が利用できるように関数の式を変形することにより, 三角関数を含む関数の極限を求めることができる。 (カ) 義に基づいて, 関数の連続性, 不連続性を判定することができる。 閉区間で連続な関数が最大値, 最小値をもつことを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 工夫して式変形することにより, 数列の極限を求めることができる。 数列の極限が簡単に求められない場合に, 数列の極限の大小関係(はさみうちの原理)を用いて, 極限が求められる。 (イ) 無限等比数列の極限を, 公比の値で場合分けして考察できる。 漸化式で表された数列の項の決まり方を, グラフを利用して視覚化することで, 極限を考察できる。 (ウ) 無限等比級数の収束, 発散を, 既習である等比数列の和の極限を調べることで考察できる。 繰り返しを含む図形的な問題を, 無限等比級数を活用して考察することができる。 循環小数が無限等比級数の形に表されることを理解し, 無限等比級数の考えを用いて, 循環小数を分数で表すことができる。 (エ) 関数の極限について, 数列の極限における考え方との類似点と相違点を理解している。 関数の極限について, グラフなどで直観的に考察できる。 極限值をもつ関数の係数決定に関しては, 等式を成り立たせるための必要条件を求めて, その十分性をチェックすることで関数の式の係数を決定することができることを理解している。 (オ) 関数の極限が簡単に求められない場合に, 関数の極限の大小関係(はさ				
---	--	---	--	--	--	--

	(イ)漸化式で表された数列の極限をグラフで視覚化する方法に、興味、関心をもつこと。 (ウ)「項を無限に加える」ということを、数学的に定義する方法を理解しようとする。 繰り返しを含む図形的な問題に興味をもち、無限等比級数を利用して考察しようとする。 (エ)関数の極限を、グラフなどで直観的に考察しようとする。 (オ)三角関数が現れる図形的な問題を、三角関数の極限を利用して考察しようとする。 (カ)連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。		みうちの原理)を用いて、極限が求められる。 三角関数の極限を応用して、図形的な問題を考察することができる。 (カ)中間値の定理が成り立つための条件を正しく理解し、解の存在の証明に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)簡単な無限数列の極限を、グラフなどで直観的に考察しようとする。 (イ)漸化式で表された数列の極限をグラフで視覚化する方法に、興味、関心をもつこと。 (ウ)「項を無限に加える」ということを、数学的に定義する方法を理解しようとする。 繰り返しを含む図形的な問題に興味をもち、無限等比級数を利用して考察しようとする。 (エ)関数の極限を、グラフなどで直観的に考察しようとする。 (オ)三角関数が現れる図形的な問題を、三角関数の極限を利用して考察しようとする。 (カ)連続でない関数があることに興味をもち、グラフを用いてそのことを調べようとする。				
	定期考査			○			1
2 学 期	A 単元: 微分法 【知識及び技能】 (ア)微分係数の定義と、その図形的意味を理解していること。 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せること。 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分できること。 (イ)導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を利用して、種々の導関数を求めることができること。 (ウ)三角関数、対数関数、指数関数の導関数を理解し、三角関数、対数関数、指数関数を含む種々の関数の導関数を求めることができること。 αが実数のとき、$(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ が成立することを理解していること。 対数微分法を利用して、複雑な関数を微分できること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 単元: 微分法 【知識及び技能】 (ア)微分係数の定義と、その図形的意味を理解している。 微分可能性と連続性の関係を理解し、連続ではあるが微分可能でないことを示せる。 導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分できる。 (イ)導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を利用して、種々の導関数を求めることができる。 (ウ)三角関数、対数関数、指数関数の導関数を理解し、三角関数、対数関数、指数関数を含む種々の関数の導関数を求めることができる。 αが実数のとき、$(x^\alpha)' = \alpha x^{\alpha-1}$ が成立することを理解している。 対数微分法を利用して、複雑な関数を微分できる。	○	○	○	25

(エ)第 n 次導関数の定義とその表現方法を理解し、種々の関数の第 n 次関数が求められること。 (オ)方程式 $F(x, y)=0$ を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分できること。 曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数で表された関数の導関数が求められること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)微分係数の 2 通りの表し方を理解し、その図形的意味を考察できること。 (イ)導関数を、微分係数から得られる新しい関数として理解することができること。 (ウ)導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を定義に基づいて証明できること。 (エ)三角関数、対数関数、指数関数を含む関数を合成関数とみて、合成関数の微分法を利用することができること。 (オ)自然対数の底 e を考える必然性を理解していること。 【主体的に学習に取り組む態度】 (ア)さまざまな導関数の性質や公式に興味をもち、定義に基づいて証明しようとする。 (イ)$(x^a)' = a x^{a-1}$ において、a の範囲を自然数、整数、有理数と拡張していく考え方に興味をもち、考察しようとする。 (ウ)関数の極限としての値 e (自然対数の底)について興味をもち、考察しようとする。 (エ)a が実数のとき $(x^a)' = a x^{a-1}$ が成り立つことの証明に対数微分法が利用できることに興味をもち、考察しようとする。 (オ)陰関数の微分や媒介変数表示された関数の微分について、その簡便さを理解し、積極的に利用しようとする。		(エ)第 n 次導関数の定義とその表現方法を理解し、種々の関数の第 n 次関数が求められる。 (オ)方程式 $F(x, y)=0$ を関数とみて、合成関数の導関数を利用して微分できる。 曲線の媒介変数表示を理解し、媒介変数で表された関数の導関数が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)微分係数の 2 通りの表し方を理解し、その図形的意味を考察できる。 (イ)導関数を、微分係数から得られる新しい関数として理解することができる。 (ウ)導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を定義に基づいて証明できる。 (エ)三角関数、対数関数、指数関数を含む関数を合成関数とみて、合成関数の微分法を利用することができる。 (オ)自然対数の底 e を考える必然性を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (ア)さまざまな導関数の性質や公式に興味をもち、定義に基づいて証明しようとする。 (イ)$(x^a)' = a x^{a-1}$ において、a の範囲を自然数、整数、有理数と拡張していく考え方に興味をもち、考察しようとする。 (ウ)関数の極限としての値 e (自然対数の底)について興味をもち、考察しようとする。 (エ)a が実数のとき $(x^a)' = a x^{a-1}$ が成り立つことの証明に対数微分法が利用できることに興味をもち、考察しようとする。 (オ)陰関数の微分や媒介変数表示された関数の微分について、その簡便さを理解し、積極的に利用しようとする。				
--	--	--	--	--	--	--

B 単元: 微分法の応用 【知識及び技能】 (ア)微分係数の意味を理解しており、接線の方程式が求められること。 公式を利用して、法線の方程式が求められること。 (イ)$F(x, y)=0$ で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められること。 (ウ)平均値の定理と、その図形的意味を理解し、具体的に c の値を求めることができること。 (エ)導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減や極値が調べられること。 $f(x)$が $x=a$ で微分不可能な場合にも、増減表から $f(a)$が極値になるかどうかを判定できること。 関数の極値に関する条件から、関数を決定することができること。 (オ)導関数を利用して増減表をかくことができ、関数の最大値・最小値が求められること。 (カ)曲線の凹凸の定義を理解し、第 2 次導関数の符号で曲線の凹凸が判定できる。また変曲点が求められること。 導関数、第 2 次導関数を利用して、増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べて関数のグラフをかくことができること。 第 2 次導関数を利用し、増減表をかかなくても極値が求められること。 (キ)導関数を利用して、不等式の証明問題、方程式の実数解の個数問題を解くことができること。 (ク)ベクトルの成分を微分することによって、速度ベクトル、加速度ベクトルが求められることを理解し、実際に求めることができること。 等速円運動、角速度の定義を理解し、等速円運動をしている点の速度、加速度の関係が調べられること。 (ケ)微分係数の意味を考えることで、関数の近似式を考察できること。 関数の 1 次の近似式を作ることができること。 【思考・判断・表現】 (ア)接線に直交する条件と、直線の方程式の公式から、法線の方程式の公式を考察することができること。 曲線外の定点 C から曲線に接線を引くとき、接点 A における接線が点 C を通る	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	B 単元: 微分法の応用 【知識及び技能】 (ア)微分係数の意味を理解しており、接線の方程式が求められる。 公式を利用して、法線の方程式が求められる。 (イ)$F(x, y)=0$ で表された曲線の接線の方程式を、陰関数の微分法を利用して求められる。 (ウ)平均値の定理と、その図形的意味を理解し、具体的に c の値を求めることができる。 (エ)導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、導関数を利用して関数の増減や極値が調べられる。 $f(x)$が $x=a$ で微分不可能な場合にも、増減表から $f(a)$が極値になるかどうかを判定できる。 関数の極値に関する条件から、関数を決定することができる。 (オ)導関数を利用して増減表をかくことができ、関数の最大値・最小値が求められる。 (カ)曲線の凹凸の定義を理解し、第 2 次導関数の符号で曲線の凹凸が判定できる。また変曲点が求められる。 導関数、第 2 次導関数を利用して、増減、凹凸、変曲点、漸近線などを調べて関数のグラフをかくことができる。 第 2 次導関数を利用し、増減表をかかなくても極値が求められる。 (キ)導関数を利用して、不等式の証明問題、方程式の実数解の個数問題を解くことができる。 (ク)ベクトルの成分を微分することによって、速度ベクトル、加速度ベクトルが求められることを理解し、実際に求めることができる。 等速円運動、角速度の定義を理解し、等速円運動をしている点の速度、加速度の関係が調べられる。 (ケ)微分係数の意味を考えることで、関数の近似式を考察できる。 関数の 1 次の近似式を作ることができる。 【思考・判断・表現】 (ア)接線に直交する条件と、直線の方程式の公式から、法線の方程式の公式を考察することができる。 曲線外の定点 C から曲線に接線を引くとき、接点 A における接線が点 C を通	○	○	○	24
--	---	---	---	---	---	----

	と読み替えて、接線の方程式を求めることができること。 共通な接線をもつ条件を理解し、問題の解決に利用できること。 (イ) 平均値の定理を利用して、不等式を証明できること。 (ウ) 平均値の定理を利用して導関数の符号と関数の増減の関係を証明する方法を理解していること。 $f'(a)=0$ は、$f(a)$ が極値であるための必要条件ではあるが、十分条件ではないことを理解していること。 関数の極値に関する条件から関数を決定する際に、必要十分条件に注意していること。 (エ) 最大・最小の応用問題で、変数のとり方、定義域に注意していること。 (オ) 関数の定義されていないところや、$x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態を調べて、関数のグラフをかくことができること。		と読み替えて、接線の方程式を求めることができる。 共通な接線をもつ条件を理解し、問題の解決に利用できる。 (イ) 平均値の定理を利用して、不等式を証明できる。 (ウ) 平均値の定理を利用して導関数の符号と関数の増減の関係を証明する方法を理解している。 $f'(a)=0$ は、$f(a)$ が極値であるための必要条件ではあるが、十分条件ではないことを理解している。 関数の極値に関する条件から関数を決定する際に、必要十分条件に注意している。 (エ) 最大・最小の応用問題で、変数のとり方、定義域に注意している。 (オ) 関数の定義されていないところや、$x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態を調べて、関数のグラフをかくことができる。				
--	--	--	--	--	--	--	--

(カ)不等式を、関数の値に関する条件式に読み替えて考察できること。 方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸に平行な直線との共有点の個数に読み替えて考察できること。 (キ)導関数の意味から、点の位置を表す関数の導関数が点の速度、第2次導関数が点の加速度を表すことを理解できること。 速度、加速度を調べることで、等速円運動やサイクロイド運動の特徴を考察できること。 (ク)関数の近似式を活用して、数の近似値を求めることができること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)方程式の重解と微分の関係についての証明に関心をもち、考察しようとする。 (イ)平均値の定理に興味をもち、図形的意味を考察しようとする。 平均値の定理の証明に興味をもち、考察しようとする。 (ウ)関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 (エ)身近にある最大値・最小値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 (オ)関数のグラフのさまざまな形に興味をもち、これまで学んだことを利用して調べようとする。 (カ)方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 (キ)直線上を運動する点の速度、加速度を基にして、平面上を運動する点の速度、加速度を考察しようとする。 (ク)微分係数の図形的な意味から、関数の近似式を考察しようとする。 1次と2次の近似式について、興味をもって考察しようとする。		(カ)不等式を、関数の値に関する条件式に読み替えて考察できる。 方程式の実数解の個数を、関数のグラフとx軸に平行な直線との共有点の個数に読み替えて考察できる。 (キ)導関数の意味から、点の位置を表す関数の導関数が点の速度、第2次導関数が点の加速度を表すことを理解できる。 速度、加速度を調べることで、等速円運動やサイクロイド運動の特徴を考察できる。 (ク)関数の近似式を活用して、数の近似値を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)方程式の重解と微分の関係についての証明に関心をもち、考察しようとする。 (イ)平均値の定理に興味をもち、図形的意味を考察しようとする。 平均値の定理の証明に興味をもち、考察しようとする。 (ウ)関数の増減や極値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 (エ)身近にある最大値・最小値の問題を、導関数を用いて調べ、解決しようとする。 (オ)関数のグラフのさまざまな形に興味をもち、これまで学んだことを利用して調べようとする。 (カ)方程式や不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。 (キ)直線上を運動する点の速度、加速度を基にして、平面上を運動する点の速度、加速度を考察しようとする。 (ク)微分係数の図形的な意味から、関数の近似式を考察しようとする。 1次と2次の近似式について、興味をもって考察しようとする。	○	○	○	
定期考査			○			1

3 学 期	A 積分法 【知識及び技能】 (ア)不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができること。 不定積分の定義や基本性質を理解し、それを利用して、種々の関数の不定積分が求められること。 (イ)置換積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められること。 (ウ)部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められること。 (エ)分数式を部分分数に分解する方法を理解していること。 (オ)定積分の定義や性質を理解し、それを利用する種々の関数の定積分の計算方法を理解していること。 (カ)定積分の置換積分法では、積分区間の変換に注意して定積分を計算できること。 偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、それを利用して定積分を計算できること。 (キ)定積分の部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できること。 (ク)上端、下端に変数 x を含む定積分を、x で微分することができること。 上端、下端がともに定数である定積分を含む関数を、定積分を定数とおくことで求められること。 数列の和を長方形の面積の和として捉え、その極限を、適当な関数の定積分で表して求められること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 積分法 【知識及び技能】 (ア)不定積分の計算では、積分定数を書き漏らさずに示すことができる。 不定積分の定義や基本性質を理解し、それを利用して、種々の関数の不定積分が求められる。 (イ)置換積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められる。 (ウ)部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の不定積分が求められる。 (エ)分数式を部分分数に分解する方法を理解している。 (オ)定積分の定義や性質を理解し、それを利用する種々の関数の定積分の計算方法を理解している。 (カ)定積分の置換積分法では、積分区間の変換に注意して定積分を計算できる。 偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、それを利用して定積分を計算できる。 (キ)定積分の部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。 (ク)上端、下端に変数 x を含む定積分を、x で微分することができる。 上端、下端がともに定数である定積分を含む関数を、定積分を定数とおくことで求められる。 数列の和を長方形の面積の和として捉え、その極限を、適当な関数の定積分で表して求められる。	○	○	○	
-------------	---	---	---	---	---	---	--

関数の大小とその関数の定積分の大小との関係を理解していること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)不定積分の基本性質が利用できるよう、式を適切に変形することができること。 (イ)合成関数の微分の逆演算として、置換積分法を理解していること。 (ウ)積の微分の逆演算として、部分積分法を理解していること。 (エ)被積分関数を適切に変形することで、不定積分を求めることができること。 (オ)絶対値を含む関数の定積分を、積分区間を分けて求めることができること。 (カ)$\sqrt{a^2-x^2}$の定積分を、円の面積と関連付けて考察できる。円の面積の公式は、定積分を利用して初めて数学的にきちんと証明されたことになることを理解していること。 (キ)$\sin x$ の定積分に部分積分法を用いて漸化式を導き、考察することができること。 $e^x \sin x$, $e^x \cos x$ の定積分をそれぞれ I, J とおいて求める方法を知り、考察することができること。 (ク)上端が x である定積分を、x の関数とみることができること。 曲線で囲まれた部分の面積を、微小な長方形の面積の和の極限として捉えられること。 不等式に現れる式の図形的意味を長方形の面積と結び付けて捉え考えることで、定積分を利用した不等式の証明について考察できること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 (イ)簡単に不定積分の計算ができないとき、変数の置換をどのようにすればよいかを考え、置換積分を利用しようとする。 (ウ)簡単に不定積分の計算ができないとき、被積分関数の特徴を見て部分積分を利用しようとする。 (エ)三角関数の積を和や積に変形する公式に興味をもち、自ら証明しようとする。 (オ)簡単には定積分が求められない関数について、置換積分を用いて計算しようとする。		関数の大小とその関数の定積分の大小との関係を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)不定積分の基本性質が利用できるよう、式を適切に変形することができる。 (イ)合成関数の微分の逆演算として、置換積分法を理解している。 (ウ)積の微分の逆演算として、部分積分法を理解している。 (エ)被積分関数を適切に変形することで、不定積分を求めることができる。 (オ)絶対値を含む関数の定積分を、積分区間を分けて求めることができる。 (カ)$\sqrt{a^2-x^2}$の定積分を、円の面積と関連付けて考察できる。円の面積の公式は、定積分を利用して初めて数学的にきちんと証明されたことになることを理解している。 (キ)$\sin x$ の定積分に部分積分法を用いて漸化式を導き、考察することができる。 $e^x \sin x$, $e^x \cos x$ の定積分をそれぞれ I, J とおいて求める方法を知り、考察することができる。 (ク)上端が x である定積分を、x の関数とみることができる。 曲線で囲まれた部分の面積を、微小な長方形の面積の和の極限として捉えられる。 不等式に現れる式の図形的意味を長方形の面積と結び付けて捉え考えることで、定積分を利用した不等式の証明について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)積分法が微分法の逆演算であることから、不定積分を求めようとする。 (イ)簡単に不定積分の計算ができないとき、変数の置換をどのようにすればよいかを考え、置換積分を利用しようとする。 (ウ)簡単に不定積分の計算ができないとき、被積分関数の特徴を見て部分積分を利用しようとする。 (エ)三角関数の積を和や積に変形する公式に興味をもち、自ら証明しようとする。 (オ)簡単には定積分が求められない関数について、置換積分を用いて計算しようとする。	○	○	○	25
--	--	--	---	---	---	----

	(カ)簡単には定積分が求められない関数について、部分積分を用いて計算しようとする。 (キ)曲線で囲まれた部分の面積を微小な長方形の和で近似する積分の基本的な考え方に興味、関心をもつこと。 不定積分が求められない関数があることや、微分積分学の基本定理に興味をもち、調べようとする。		(カ)簡単には定積分が求められない関数について、部分積分を用いて計算しようとする。 (キ)曲線で囲まれた部分の面積を微小な長方形の和で近似する積分の基本的な考え方に興味、関心をもつ。 不定積分が求められない関数があることや、微分積分学の基本定理に興味をもち、調べようとする。				
	A 積分法の応用 【知識及び技能】 (ア)直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求められること。 $F(x, y)=0$ で表される曲線で囲まれた図形の面積を求められること。 媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を、置換積分を利用して求めることができること。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	A 積分法の応用 【知識及び技能】 (ア)直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求められる。 $F(x, y)=0$ で表される曲線で囲まれた図形の面積を求められる。 媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を、置換積分を利用して求めることができる。	○	○	○	

(イ)立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、体積を求めることができること。 回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積が求められること。		(イ)立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、体積を求めることができる。 回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積が求められる。				
媒介変数表示された曲線を回転させてできる立体の体積を、置換積分の考えで求めることができること。 (ウ)定積分を用いて、曲線の長さを求めることができること。 (エ)数直線上を運動する点の位置の変化量や道のりを、定積分を用いて求めることができること。 (オ)座標平面上の点が動く道のりを、定積分を用いて求めることができること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)$\sqrt{a^2-x^2}$の定積分を、円の面積と捉えて計算することができること。 面積を求めるとき、図形の対称性に着目して、効率的に計算できること。 (イ)球を円の回転体と捉え、球の体積を円 $x^2+y^2=1$ で囲まれた部分を x 軸の周りに 1 回転させた立体の体積として求めることができること。 (ウ)面積や体積と同様な考え方で、曲線の長さが定積分で求められることを理解していること。 (エ)座標平面上の点の座標が媒介変数で表されているとき、点が動く道のりは、その点が描く曲線の長さに等しいことを理解していること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)グラフの上下関係、積分範囲などを図にかいて考察して、種々の曲線や直線で囲まれた部分の面積を求めようとする。 (イ)体積 $V(x)$ が断面積 $S(x)$ の 1 つの不定積分であることに興味、関心をもち、考察しようとする。 回転体の体積を、定積分を用いて求めようとする。 一般の回転体の体積に興味を示し、具体的に理解しようとする。 (ウ)曲線の方程式が媒介変数表示や、$y=f(x)$ の形で与えられているとき、曲線の		媒介変数表示された曲線を回転させてできる立体の体積を、置換積分の考えで求めることができる。 (ウ)定積分を用いて、曲線の長さを求めることができる。 (エ)数直線上を運動する点の位置の変化量や道のりを、定積分を用いて求めることができる。 (オ)座標平面上の点が動く道のりを、定積分を用いて求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)$\sqrt{a^2-x^2}$の定積分を、円の面積と捉えて計算することができる。 面積を求めるとき、図形の対称性に着目して、効率的に計算できる。 (イ)球を円の回転体と捉え、球の体積を円 $x^2+y^2=1$ で囲まれた部分を x 軸の周りに 1 回転させた立体の体積として求めることができる。 (ウ)面積や体積と同様な考え方で、曲線の長さが定積分で求められることを理解している。 (エ)座標平面上の点の座標が媒介変数で表されているとき、点が動く道のりは、その点が描く曲線の長さに等しいことを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア)グラフの上下関係、積分範囲などを図にかいて考察して、種々の曲線や直線で囲まれた部分の面積を求めようとする。 (イ)体積 $V(x)$ が断面積 $S(x)$ の 1 つの不定積分であることに興味、関心をもち、考察しようとする。 回転体の体積を、定積分を用いて求めようとする。 一般の回転体の体積に興味を示し、具体的に理解しようとする。 (ウ)曲線の方程式が媒介変数表示や、$y=f(x)$ の形で与えられているとき、曲線の	○	○	○	24

	長さを，定積分を用いて求めようとするこ と。 (エ)数直線上を運動する点の座標，位置 の変化量，道のりの違いを理解し，定積 分を用いて求めようとするこ。		の長さを，定積分を用いて求めようとし る。 (エ)数直線上を運動する点の座標，位 置の変化量，道のりの違いを理解し，定 積分を用いて求めようとする。				
	定期考査			○			1
						合 計	140

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用)教科 数学科 科目 数学C

教科: 数学 科目: 数学C 2単位数: 単位対象学年組: 第3 学年A組

使用教科書: (数研出版数学C)

教科 数学の目標:

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Cの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元: 平面上のベクトル 【知識及び技能】 (ア) 平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。 (イ) ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 (ウ) 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 (イ) ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 (ウ) 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解している。 ・ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解している。 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・実数などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 ・ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルや	○	○	○	20

	(ア) 日常の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ) 数学の事象から問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 (ウ) 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動		その内積の考えを問題解決に活用することができる。※例 5～1 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
2 学 期	A 単元:空間のベクトル 【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 (ア) 日常の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ) 数学の事象から問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 (ウ) 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象をベクトルの考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	14
	B 単元:複素数平面 【知識及び技能】 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解している。 ・ド・モアブルの定理について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な	○	○	○	16

	に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア) 日常の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ) 数学の事象から問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動 (ウ) 数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動		特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を複素数平面の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的な論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。				
3 学 期	A 単元: 式と曲線 【知識及び技能】 (ア) 放物線、楕円、双曲線が二次式で表されることが及びそれらの二次曲線の基本的な性質について理解すること。 (イ) 曲線の媒介変数表示について理解すること。 (ウ) 極座標の意味及び曲線が極方程式で表されることがについて理解すること。 (エ) 複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積及び商の図形的な意味を理解すること。 (オ) ド・モアブルの定理について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア) 放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察すること。 (イ) 複素数平面における図形の移動などに関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を考察すること。 (ウ) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数や極座標及び複素数平面の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 (ア) 日常の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする活動 (イ) 数学の事象から問題を見だし解決したり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする活動	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・放物線、楕円、双曲線が2次式で表されることが及びそれらの2次曲線の基本的な性質について理解している。 ・曲線の媒介変数表示について理解している。 ・極座標の意味及び曲線が曲方程式で表されることがについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・放物線、楕円、双曲線を相互に関連付けて捉え、考察することができる。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて曲線を表すなどして、媒介変数表示や極座標の考えを問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を平面上の曲線の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。	○	○	○	20

	(ウ)数学的な表現を用いて筋道立てて説明し伝え合う活動						合計 70
--	-----------------------------	--	--	--	--	--	----------

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理や物理現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物理や物理現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、エネルギー問題を理解し、先端技術について理解しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 波 波の伝わり方 【知識及び技能】 波の伝わり方や性質についての規則性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わり方や性質に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 波の伝わり方や性質に関して、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 波の媒質の運動 正弦波の式 波の伝わり方 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】波の性質と伝わり方の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】並みの性質と伝わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】並みの性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	1 波 音の伝わり方 【知識及び技能】 音の伝わり方の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音の性質と伝わり方に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 音の性質と伝わり方に関して、科学的に探究しようとする態度を養う	・指導事項 音の伝わり方 音のドップラー効果 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】音の性質と伝わり方について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】音の性質と伝わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】音の性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするな	○	○	○	12

			ど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	1. 波 光 【知識及び技能】 光の性質と伝わり方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質と伝わり方に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質と伝わり方に関して、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 光の性質 レンズと鏡 光の干渉と回折 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】光の性質と伝わり方について、原理とその性質を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】光の性質と伝わり方について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	19
	2 電気と磁気 電場と電流 【知識及び技能】 電場と磁場の関係とその性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電場と磁場に関する調査やデータ解析などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 電場と磁場に関して、科学的に探究しようとする態度を養う	・指導事項 静電気力 電位 物質と電場 コンデンサー ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】電場と電流のしくみについて、基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】電場と電流のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電場と電流のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2 電気と磁気 磁場と電磁誘導 【知識及び技能】 電流、磁場の関係と電磁誘導の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電流、磁場の関係と電磁誘導に関する観察、調査などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 オームの法則 直流回路 半導体 磁場 ローレンツ力 電磁誘導の法則 交流回路 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】磁場と電磁誘導のしくみについて、基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】磁場と電磁誘導のしくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 磁場と電磁誘導のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするな	○	○	○	24

	電流、磁場と電磁誘導に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。		ど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	3. 原子 電子と原子 【知識及び技能】 電子の性質と原子の構造、および放射線について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電子に関する実験や放射線に関する調査などを行い、電子、原子、放射線について科学的に探究する力を養う。【学びに向かう力、人間性等】 電子、原子、放射線に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 電子 光の粒子性 原子核 核反応と核エネルギー ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 電子と原子の原理及びしくみについて、免疫細胞のはたらきに関する基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 電子と原子の原理としくみについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子と原子の原理としくみに関する事象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
3 学 期	4. 総合演習 【知識及び技能】 物理および物理基礎の学習範囲について、原理やしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物理および物理基礎の学習範囲に関する実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理及び物理基礎の学習範囲に関して、科学的に探求しようとする態度を養う。	・指導事項 力と運動 波 電気と磁気 原子 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物理及び物理基礎の学習内容に関する基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物理および物理基礎の学習内容に関する事象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理および物理基礎の学習内容に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	25
	卒業レポートの発表			○	○		1
							合 計
							140

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度

教科:理科

科目:化学

教科:理科 科目:化学

単位数:4単位

対象学年組:第3学年A組

教科担当者:(A組:栗田)

使用教科書:(東京書籍「新編化学」(化学 707))

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養う。

科目 化学の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学的な事物・現象についての観察、実験などを行うことを通して、化学の基本的な概念や原理・法則を理解している。また、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	化学的な事物・現象を対象に、探究の過程を通して、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、実験データの分析・解釈などの探究の方法を習得している。また、報告書を作成したり、発表したりして、科学的に探究する力を身に付けている。	化学的な事物・現象に対して、主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする。また、科学的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	単元1 物質の状態と平衡 1節 状態変化 2節 固体の構造 3節 気体の性質 4節 溶液 【知識及び技能】 ・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その基本原理と知識を身につけている。	・指導事項 実験1「100℃以下での水の沸騰」 実験2「ガラスの性質の確認」 実験3「シャルルの法則」 実験4「凝固点降下度の測定」 実験5「コロイド溶液の性質」 ・教材 教科書 問題集 スタディー サプリ ・一人1台端末 の活用 等	【知識及び技能】 ・物質の構造と沸点・融点の関係について、基本的概念や知識を身につけている。 ・状態の平衡と粒子の熱運動について、基本的な原理や知識を理解している。 ・結晶構造について、基本的な知識を身につけており、結晶とアモルファスの違いについて理解している。 ・ボイル・シャルルの法則を理解し、知識として身につけている。 ・気体の状態方程式の原理を理解し、関連問題を解くことができる。 ・溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 ・溶解度の定義や法則を理解している。 ・沸点上昇、蒸気圧降下、浸透圧などの溶液の性質について、その	○	○	○	30

・コロイド溶液について、その基本概念と性質を、実験を通して理解し、知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ・物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と計算方法について探究しようとする。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。		基本原理と知識を身につけている。 ・コロイド溶液について、その基本概念と性質を、実験を通して理解し、知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質の構造が沸点・融点に大きく影響していることを考えることができる。 ・平衡状態における粒子のふるまいについて推論することができ、モデルで表現することができる。 ・結晶構造を理解し、モデルで表現することができる。 ・結晶とアモルファスの違いについて理解し、説明することができる。 ・気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができる。 ・気体の状態方程式について、その関係性を理解し、計算することができる。 ・溶液の溶解の仕方について、その液性と関連付けて理論的に考えることができる。 ・溶解度について理解し、計算することができる。 ・沸点上昇、凝固点降下、浸透圧などについて理解し、それをもとにした計算をすることができる。 ・コロイド溶液の性質について、推論することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。 ・物質の平衡と粒子の熱運動に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・結晶の構造について興味をもち、意欲的に探究しようとする。 ・気体の温度、体積、圧力の関係に関心をもち、探究しようとする。 ・気体において成り立つ気体の状態方程式について、その導き方と		
--	--	---	--	--

・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。		計算方法について探究しようとする。 ・物質の溶解の仕方と溶解度について関心を持ち、探究しようとする。 ・溶液の性質に関心を持ち、意欲的に探究しようとする。 ・コロイド溶液について、その性質やふるまいに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。				
単元2 物質の変化と平衡 1節 化学反応と熱・光エネルギー 2節 電池と電気分解 3節 反応の速さとしくみ 4節 化学平衡 【知識及び技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。 ・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。	・指導事項 実験6「ヘスの法則」 実験7「ルミノール反応」 実験8「鉛蓄電池」 実験9「反応速度と濃度・温度の影響」 実験10「酢酸の電離定数」 ・教材 教科書 問題集 スタディーサプリ ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について、基本的概念を理解し、エンタルピーの表記を使用して熱の出入りを示すことができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について、具体例をもとに、基本的概念を理解している。 ・電池と電気分解のしくみについて理解し、電気量と物質量の関係から、関連問題を解くことができる。 ・反応速度に影響する条件を理解し、その知識をもとに反応のしくみを理解している。 ・化学平衡について、その概念、原理、法則を理解している。 ・化学平衡の移動の原理を理解している。 ・電離平衡について、酸・塩基と関連付けて、その原理を理解している。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・化学反応と熱エネルギーの関係について理解し、その性質や法則を論理的に考えることができる。 ・化学反応と光エネルギーの関係について理解し、論理的に考えることができる。 ・化学反応と電気エネルギーの関係について理解し、酸化還元反応と関連させて論理的に考えることができる。 ・反応の速さを決める条件やそのしくみを理解し、反応のしくみについて論理的に推論することができる。	○	○	○	30

	・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 ・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。		・化学平衡について、その原理と法則を論理的に理解することができる。 ・平衡の移動について論理的に説明することができる。 ・電離平衡について、酸・塩基の概念と共に理解し、説明することができる。また、pHを計算することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、熱エネルギーと光エネルギーについて探究しようとする。 ・化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、電気エネルギーについて探究しようとする。 ・反応の速さに関する事象・現象に関心を持ち、反応のしくみを探究しようとする。 ・化学反応における可逆反応、化学平衡に興味を持ち、その現象について探究しようとする。 ・化学平衡における移動、利用について探究しようとする。				
	定期考査			○	○		1
2学期	単元3 無機物質 1節 周期表 2節 非金属元素 3節 金属元素 【知識及び技能】 ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。	・指導事項 実験11「ハロゲン単体の酸化力」 実験12「硫化水素の発生」 実験13「アルカリ金属の単体と水との反応性」 実験14「鉄(Ⅱ)イオンと鉄(Ⅲ)イオンの反応」 実験15「銅(Ⅱ)イオンの反応」 実験16「銀イオンの反応」 実験17「金属イオンの分離と確認」 ・教材	【知識及び技能】 ・周期表における各元素の配置、性質を理解している。 ・非金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・金属元素の単体、化合物において、それぞれの物質の製法、性質、反応性について理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている無機物質について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・金属イオンについて、それぞれの反応性を理解し、イオンを分離する方法を身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・無機物質の性質を周期表と関連付けて理解することができる。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応	○	○	○	25

・それぞれの非金属元素の単体、化合物において、その性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	教科書 問題集 スタディー サプリ ・一人1台端末 の活用 等	を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物の性質や反応を論理的に類推、考察することができる。また、実験を通して判断することができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・周期表における元素の配置に興味を持ち、各元素の分類を探究しようとする。 ・それぞれの非金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの金属元素の単体、化合物について関心を持ち、その製法や性質、反応性について意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている無機物質について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。				
単元4 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族化合物 4節 芳香族化合物 【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 実験18「分子模型の作製」 実験19「メタンの立体構造」 実験20「ヨードホルム反応」 実験21「エステルの合成」 実験22「サリチル酸メチルの合成」 実験23「アゾ化合物の合成」 実験24「有機化合物の分離」 ・教材 教科書 問題集 スタディー サプリ ・一人1台端末 の活用 等	【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。	○	○	○	30

・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。		【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンのそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。 ・芳香族化合物について、その代表的な物質の性質や反応性を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている有機化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。				
単元5 高分子化合物 1節 高分子化合物 2節 天然高分子化合物 3節 合成高分子化合物 【知識及び技能】 ・高分子化合物の分類と特徴について理解している。	・指導事項 実験25「ナイロン 66 の合成」 実験26「合成樹脂の合成」	【知識及び技能】 ・有機化合物の特徴と分類について理解している。 ・有機化合物の構造決定の方法を理解している。 ・炭化水素の構造や反応性、それぞれの関係について理解し、知識として身につけている。 ・異性体について理解している。	○	○	○	15

・天然高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物の性質と反応に関する概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。 ・合成高分子化合物について、日常生活および化学工業に関連付けて理解し、知識を身につけている。 ・人間生活で利用されている高分子化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高分子化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・天然高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、存在例を理解することができる。 ・合成高分子化合物について、代表的な物質の構造とその性質、利用例を理解することができる。また、単量体から高分子化合物の構造式を書くことができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・高分子化合物の分類と特徴について探究しようとする。 ・天然高分子化合物について、その構造や性質、存在例を意欲的に探究しようとする。 ・合成高分子化合物について、その構造や性質、利用のされ方を意欲的に探究しようとする。 ・人間生活に利用されている高分子化合物について興味を持ち、その利用のされ方を積極的に探究しようとする。	・教材 教科書 問題集 スタディー サプリ ・一人1台端末 の活用 等	・酸素を含む脂肪族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・芳香族化合物について、その性質や反応性が官能基によって特徴付けられることを理解している。また、実験によって確かめられる。 ・人間生活で利用されている有機化合物について理解し、具体的な例を知識として身につけている。 ・それぞれの実験において、適切な実験操作を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有機化合物の特徴を理解し、分類することができる。 ・有機化合物の構造決定の手順を理解し、実際に未知の化合物の構造を決定することができる。 ・アルカン、アルケン、アルキンそれぞれの性質が構造に関連していることを理解し、異性体についても論理的に考察することができる。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・芳香族化合物について、それぞれの物質が持つ官能基によって共通の性質がもたらされることを理解し、その性質を実験的に確かめることができる。 ・それぞれの実験を探究的に行い、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・有機化合物の特徴と分類について探究しようとする。 ・有機化合物の構造決定について意欲的に探究しようとする。 ・アルカン、アルケン、アルキンについて、その構造と性質を意欲的に探究しようとする。 ・酸素を含む脂肪族化合物について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究し、官能基ごとに整理しようとする。 ・芳香族炭化水素について、その構造や性質、反応性を意欲的に探究しようとする。				
---	--	--	--	--	--	--

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教 科: 保健体育 科 目: 体育 単位数: 3単位 対象学年組: 第3学年A組

使用教科書: (現代高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づき、仲間と主体的に関わり合うこと。 実生活に生かす運動の計画では、自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動 ・実生活に生かす運動の計画 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・体づくり運動では、自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための適切な運動の行い方があることを理解している。 ・体力の構成要素は、健康に生活するための体力と運動を行うための体力に密接に関係していることを理解している。 ・実生活への取り入れ方には、自己のねらいに応じた様々な運動の計画などがあることを理解している。 ・課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための運動例の選択とそれに基づく計画の作成及び実践、学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 ・運動に取り組む場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・仲間との話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむ	○	○	○	10

			むための調整の仕方を見付けている。 ・体づくり運動の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・体づくり運動の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。 ・課題解決に向けて話し合う場面で、合意形成に貢献しようとする。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保すること。				
B ソフトボール 【知識及び技能】 状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保できるようにする。	・キャッチボール ・バットイング ・状況に応じた守備の練習 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ソフトボールの技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ソフトボールの学習に主体的に取り組もうとしている ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。	○	○	○	13	
C 水泳 【知識及び技能】 クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳い	・クロール ・平泳ぎ ・背泳ぎ ・バタフライ ・複数の泳法で長く泳ぐ ・海難救助法 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・水泳では、各種目や運動の局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、効率のよい泳ぎにつながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の仕方があることを理解している。 ・水泳の種目によって必要な体力要素があり、その種目の技能に関連させながら体力を高めることができる。	○	○	○	13	

	だり速く泳いだりすることができるようにする。 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 複数の泳法で長く泳ぐこと又はリレーをすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保できるようにする。		課題解決の方法には、自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、記録会などを通じた学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることを理解している。 競技会や記録会で、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方などがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・選択した泳法について、自己や仲間の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見している。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・練習や競技会などの場面で、自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・バディやグループでの学習で、状況に応じて自己や仲間の役割を提案している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに水泳を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・水泳の学習成果を踏まえて自己に適した「する、みる、支える、知る」などの生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水泳の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ・役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ・水泳の事故防止の心得を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保している。				
D 体育理論	【知識及び技能】 スポーツは、各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じた多様な楽しみ方があること。また、その楽しみ方は、個人のスポーツに対する欲求などによっても変化することを理解できるようにする。	・生涯スポーツの見方・考え方 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・スポーツには、乳・幼児期から高齢期に至るライフステージごとに、体格や体力の変化などに見られる身体的特徴、精神的ストレスの変化などに見られる心理的特徴、人間関係や所属集団の変化などに見られる社会的特徴に応じた多様な楽し	○	○	○	2

	【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		み方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・各ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方は、個人のスポーツ経験や学習によって育まれたスポーツに対する欲求や考え方、健康や体力を求める必要性や個人の健康目標などによっても変化するものであることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方やライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方について、自己や自己を取り巻く環境の変化を予想し、自己や社会についての課題を発見している。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。				
2 学 期	E ダンス 【知識及び技能】 感じを込めて踊ったり仲間と自由に踊ったり、自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解するとともに、それぞれ特有の表現や踊りを身に付けて交流や発表をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・基本的なステップ ・課題ダンス ・グループ創作 ・発表会 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。 ・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、イメージを強調した作品にまとめたりに踊ることができる。 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	○	○	○	13

	ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。		【主体的に学習に取り組む態度】 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。				
	F バスケットボール 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・シュート ・パス ・ドリブル ・戦術 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バスケットボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	13
	G パレーボール 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。	・パス ・スパイク ・サーブ ・戦術 ・ゲーム ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	○	○	○	13

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。			【主体的に学習に取り組む態度】 ・バレーボールに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをし、健康・安全を確保している。				
H 体育理論 【知識及び技能】 生涯にわたってスポーツを継続するためには、ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方を見付けること、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすることなどが必要であることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことをできるようにする。	・ライフスタイルに応じたスポーツ ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ライフステージやライフスタイルによっては、仕事の種類や暮らし方によって運動に関わる機会が減少することもあるため、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすること、多様な関わり方を実現するための具体的な設計の仕方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【・生涯にわたって「する、みる、支える、知る」などのスポーツを多様に継続するためには、ライフステージに応じたスポーツの楽しみ方を見付けることに加え、それぞれの生き方や暮らし方といったライフスタイルに応じた無理のないスポーツへの関わり方が大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・ライフステージやライフスタイルによっては、仕事の種類や暮らし方によって運動に関わる機会が減少することもあるため、仕事と生活の調和を図ること、運動の機会を生み出す工夫をすること、多様な関わり方を実現するための具体的な設計の仕方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○ ○ ○ 2				

			思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている				
3 学 期	I バドミントン 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・クリア ・ヘアピン ・ドロップ ・ロビング ・スマッシュ ・ドライブ ・サービス ・シングルス ・ダブルス ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている	○	○	○	12
	J 卓球 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】	・フォアハンド ・バックハンド ・サービス ・スマッシュ ・ツッツキ ・シングルス ・ダブルス ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解している。 ・状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。	○	○	○	12

生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。			【主体的に学習に取り組む態度】 ・卓球に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている				
K 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの推進は、様々な施策や組織、人々の支援や参画によって支えられていることを理解できるようにする。 人生に潤いをもたらす貴重な文化的資源として、スポーツを未来に継承するためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な「する、みる、支える、知る」などの関わりが求められることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・スポーツを推進する取り組み ・豊かなスポーツライフの創造 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 ・国や地方自治体は、スポーツの推進のために様々な施策を行っており、人や財源、施設や用具、情報などを人々に提供するなどの条件整備を行っていること、また、スポーツの推進を支援するために、企業や競技者の社会貢献、スポーツボランティアや非営利組織(NPO等)などが見られるようになっていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツを、人生に潤いをもたらす貴重な文化的財産として未来に継承するためには、スポーツには健康で生き生きとした生活をもたらしたり、様々な人々とながたりするなどの可能性がある反面、過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人生に潤いをもたらす適切な関わり方を継続するためには、「する」だけでなく、豊かなスポーツライフを実現するための「みる」、「支える」、「知る」などの卒業後のスポーツへの多様な関わり方を構想したり、設計したりすることが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会について、これまで学習したことを基に、将来の自己のスポーツ設計や未来の社会についての自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。	○ ○ ○			2	合計 105

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅢ

教科: 外国語 科目: 英語コミュニケーションⅢ 単位数: 3 単位対象学年組: 第3学年 A組

使用教科書: (三省堂『MY WAY English Communication Ⅲ』、Z会『パワーマックス英語リスニング』)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりできる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅢの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、学習指導要領に示された言語材料について理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 す こ と	話 す こ と	書					
1 学 期	A 単元 Lesson1 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。	・異文化や SDGs に関する新聞記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考	○	○	○	12

解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
B 単元 Lesson2 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。	・新元素ニホニウムに関する雑誌記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しな				12

【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。】							がら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					
定期考査		○	○			○		○	○		1	
C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外	・お茶の消費量の多い国に関する講義を聞き取る。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律					12

国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
D 単元 Lesson4 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・折り紙に関するプレゼンテーションを聞き取る。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				

○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○

12

	的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている												
	定期考査			○	○			○			○	○	1
2 学 期	E Lesson5 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・英語のスペリングに関するブログを読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用											
				○	○			○			○	○	12

F Lesson6 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ナスカの地上絵に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	11
定期考査		○	○			○		○	○		1
G 『パワーマックス』第1回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○					【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○	○	○	10

と、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							ンにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
H 『パワーマックス』第2回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	C					【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○	○	○	10

	○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査		○	○			○		○	○		1
3 学 期	I 『パワーマックス』第3回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割	・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○					【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○	○	○	10

などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				合計 105
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	------------------------------

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅲ

教科: 外国語 科目: 論理・表現Ⅲ 単位数: 2 単位対象学年組: 第3学年 A組

使用教科書: (啓林館『Vision Quest English Logic and Expression』、Z会『パワーマックス英語リーディング』)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 論理・表現Ⅲの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身に付けている。 外国語の音声、語彙・表現、文法を、4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 す	話 き	書					
1 学 期	A 単元 Lesson1 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。	・ソーシャルメディアに関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	○	○	○	8

○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
B 単元 Lesson2 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題	・2人の会社員の会話を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外	○	○	○	8

から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。】						国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					
定期考査		○	○		○		○	○		1	
C 単元 Lesson3 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。	・大阪の笑いに関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用					【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。		○	○	○	8

○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
D 単元 Lesson4 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・日本人の祖先がどのように渡海したかを読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の				

	○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。						意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。						
	定期考査			○	○		○		○	○			1
2 学 期	E Lesson5 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコ	・心理学に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコ					8

したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							コミュニケーションを図ろうとしている。				
F Lesson6 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ピクサーの歴史に関する記事を読む。 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用						【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	8

定期考査		○	○			○		○	○	1
G 『パワーマックス』第1回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○						○	○	8
H 『パワーマックス』第2回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーション	・補助教材を用いた問題演習 ・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用	○						○	○	8

ンにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている							ンにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					
定期考査			C	C			O		O	C		1

3 学 期	I 『パワーマックス』第3回 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けさせる。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできるようにする。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている	・ICT 機器を活用した授業 ・一人1台端末の活用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
-------------	---	------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度

教科 国語

科目 現代文演習

教科: 国語 科目: 現代文演習

単位数: 2

単位対象学年組: 第 3 学年 A 組

使用教科書: (なし)

教科 国語

の目標:

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国に言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代文演習

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代文の長文読解問題を解くために必要な語彙力、読解方を身につけ、大学入学共通テストレベルまで引き上げる。	現代文の長文読解問題における選択肢問題や記述問題を解くために必要な思考力・判断力・表現力を養成する。	論理的文章や文学的文章への理解を深め、読解力を身につけようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・ 聞	書	読					
1 学 期	A 単元 現代文読解基礎習得 【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。評論文読解に必要な基本的な語彙力を養成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握する 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して	・一人1台端末の活用 ・指導事項 指示内容の把握 対比関係 人称 具体と抽象 心情把握 新傾向問題の読解		○	○	【知識及び技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりにするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。評論文読解に必要な基本的な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしなが重要旨を把握している 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで筆者の主張とその根拠や論拠をとらえようとするとともに、内容に関して自らの考えをもち伝えようとしている。	○	○	○	12

	自らの考えをもち伝える。								
	定期考査						○	○	1
	B 単元 現代文読解基礎演習 【知識及び技能】 ・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解する。 ・主張とその根拠や前提となる情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に、学習課題に沿って、学術的な文章の構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にししながら要旨を把握する。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 強調や疑問の表現について 問題定義と結論 象徴的な描写の読み取り 抽象語の内実について			○	○	○	○	12
	定期考査						○	○	1
2 学 期	C単元 現代文読解上級演習 【知識及び技能】 ・効果的な段落の構造について理解を深める。 ・主張とその前提や反証などの関係について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章	・一人1台端末の活用 ・指導事項 引用の意図を読み取る 心象風景 表現形式 比喩表現 場面設定と心情描写			○	○			12

	や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることとおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。				内容や形式について、積極的に批評したり討論したりすることとおして、その構成や展開を的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握しようとしている。				
	定期考査					○	○		1
	D単元 大学入学共通テスト演習 【知識及び技能】 ・大学入学共通テストを読解するために必要な語彙力を養成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学入学共通テストにおいて、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学共通テストの問題演習に真摯に取り組む、必要な読解力を身につけようとしている。	・一人1台端末の活用 ・指導事項 選択肢問題の消去法 文章読解のマーキング方法 文章構成の把握について 表現技法		○	○	【知識及び技能】 ・大学入学共通テストを読解するために必要な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学入学共通テストにおいて、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学入学共通テストの問題演習に真摯に取り組む、読解力を身につけようとしている。			12
	定期考査					○	○		1
3 学 期	E単元 大学過去問演習 【知識及び技能】 ・大学過去問を読解するために必要な語彙力を養成する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学過去問において、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確	・一人1台端末の活用 ・指導事項 記述問題について 空欄補充問題について 並べ替え問題について		○	○	【知識及び技能】 ・大学過去問を読解するために必要な語彙力を養成している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・大学過去問において、文章の種類に応じて、内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。			17

	に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・大学過去問の問題演習に真摯に取り組む、必要な読解力を身につけようとしている。				【学びに向かう力、人間性等】 ・大学過去問の問題演習に真摯に取り組む、必要な読解力を身につけようとしている。				
定期考査						○	○		1 70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 国語 科目 古典演習

教科: 国語 科目: 古典演習 単位数: 2 単位対象学年組: 第 3 学年 A 組

使用教科書: (なし)

教科 国語 の目標:

- 【知識及び技能】伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、一年次に養った古典の基礎・基本についての力を発展させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】古典の学習を通して生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】まとまりのある古文を読み、我が国の伝統と文化に対する関心を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を伸ばす。

科目 古典演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典学習を通して伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢文などについて基礎基本や発展的内容を理解する。	古典の学習を通して生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす	まとまりのある古文を読み、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話 聞	書	読					
1 学 期	古文単語・文法、古典常識を習得し、古文の基礎基本を復習する 『徒然草』 『宇治拾遺物語』 『落窪物語』 『鹿島紀行』 『蜻蛉日記』 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、基礎基本的な文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、基礎基本の古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色についてとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、関心を深めようとしている。	・一人1台端末の活用等 ・指導事項 ・動詞 ・助動詞 ・形容詞 ・形容動詞 ・敬語 ・助詞 ・古文単語 ・古文常識	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色の基礎基本について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、関心を深めている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1

2 学 期	漢文の基礎基本を復習する 『宗名臣言行録』 『孟子』 『十八史略』 『世説新語』 『唐詩三百首』 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・教材に興味を持って意欲的に学習に取り組もうとしている。	・一人1台端末の活用 等 ・返り点の読み方を理解する。 ・再読文字の含まれた文章を正しい語順で読むことができるようにする。 ・否定形 ・疑問形 ・反語系	○	○	○	【知識・技能】 ・基本的な訓読のきまりを理解し、説明できる。 ・重要語句や句法、漢字の意味を理解ため漢和辞典を活用している。 ・対句的な文章表現とその効果について理解し、説明している。 【思考・判断・表現】 ・それぞれの章の本文の構成を把握し、内容を正しくまとめている。 ・内容に表れた学問、政治に対する考え方を理解し、説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・教材に興味を持って意欲的に学習に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	古文単語・文法、古典常識を習得し、基礎的・応用的な読解力を高める。 『土佐日記』 「雨月物語」 「平家物語」 『今昔物語集』 『大和物語』 【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、応用的な文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、応用的な古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色についてとらえている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、関心を深めようとしている。	・一人1台端末の活用 等 ・指導事項 ・動詞 ・助動詞 ・形容詞 ・形容動詞 ・敬語 ・助詞 ・古文単語 ・古文常識	○	○	○	【知識及び技能】 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の応用的な特色について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、関心を深めている。	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	漢文の単語・文法、常識を習得し、応用的な読解力を高める。 『説苑』 『日喻』 『韓非子』 『郁離子』 『戦国策』	・一人1台端末の活用 等 ・指導事項 ・使役形 ・仮定形 ・受身 ・限定系	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文の歴史的・文化的背景をまとめ、古典の世界に関心を示している。 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	○	○	○	12

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 地歴公民 科目 日本史総合

教科: 地歴公民 科目: 日本史総合

単位数: 4単位対象学年組: 第3学年A組

使用教科書: (『詳説日本史』山川出版社 『新詳日本史』浜島書店)

教科 地歴公民の目標:

【知識及び技能】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	近代の日本と世界① 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	近代の日本と世界① 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を	○	○	○	16

	主体的に追及しようとする態度を養う。		視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。				
定期考査				○	○		1
近代の日本と世界② 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	・教科書、補助教材 自作プリント ・一人1台端末の活用	近代の日本と世界③ 【知識及び技能】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	20	
定期考査				○	○		1

2 学 期	近代の日本と世界③ 【知識及び技能】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	- 教科書、補助教材 自作プリント - 一人1台端末の活用	近代の日本と世界③ 【知識及び技能】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	戦後の日本 【知識及び技能】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	- 教科書、補助教材 自作プリント - 一人1台端末の活用	戦後の日本 【知識及び技能】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的にとらえて理解するとともに、諸資料から、近代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象の意味や意義、伝統と文化の特徴などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 近代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及しようとする態度を養う。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1

3 学 期	問題演習 【知識及び技能】 - 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	- 教科書、補助教材 - 自作プリント - 一人1台端末の活用	問題演習 【知識及び技能】 - 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 - 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 - 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	39	合計
								140

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 数学科 科目 数学ⅠA演習
教科: 数学 科目: 数学ⅠA演習 2単位数: 単位対象学年組: 第3 学年A組

使用教科書: (数研出版「数学Ⅰ」「数学A」)

教科 数学の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Cの目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数や式を多面的にみることができる。 ・数や式を目的に応じて適切に変形することができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析することができる。 ・問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題を考察し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	数学Ⅰ：数と式 数学Ⅰ：集合と命題 数学Ⅰ：2次関数 各分野の重要な定理・公式を確認し、基本問題編で定理・公式の使い方を演習することで数学的に表現・処理する技能を身に付ける。 共通テストを分析して作成した問題に取り組むことで、共通テストで求められる思考力・判断力・表現力を身に付ける。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数や式を多面的にみることができる。 ・数や式を目的に応じて適切に変形することができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論	○	○	○	19

			理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析することができる。 ・問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 問題を考察し、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。				
2 学 期	数学Ⅰ：図形と計量 数学Ⅰ：データの分析 数学A：場合の数と確率 各分野の重要な定理・公式を確認し、基本問題編で定理・公式の使い方を演習することで数学的に表現・処理する技能を身につける。 共通テストを分析して作成した問題に取り組むことで、共通テストで求められる思考力・判断力・表現力を身につける。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数や式を多面的にみることができる。 ・数や式を目的に応じて適切に変形することができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析することができる。 ・問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	26

			・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。				
3 学 期	数学A:図形の性質 各分野の重要な定理・公式を確認し、基本問題編で定理・公式の使い方を演習することで数学的に表現・処理する技能を身につける。 共通テストを分析して作成した問題に取り組むことで、共通テストで求められる思考力・判断力・表現力を身につける。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 ・基本的な概念や原理・法則を体系的に理解することができる。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・数や式を多面的にみることができる。 ・数や式を目的に応じて適切に変形することができる。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析することができる。 ・問題解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。	○	○	○	25 合計 70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 理科 科目 物理演習

教科:理科 科目:物理演習 単位数: 2単位 対象学年組:第 3学年A組

使用教科書:(物理(数研出版))

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物理や物理現象について問題演習で理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、また問題演習で科学的に探究する力を養う。	物理や物理現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、エネルギー問題を理解したり、先端技術について問題演習で理解しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 波 波の伝わり方 【知識及び技能】 波の伝わり方や性質についての規則性について問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 波の伝わり方や性質に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】 波の伝わり方や性質に関して、科学的に探求しようとする態度を問題演習で養う。	・指導事項 波の媒質の運動 正弦波の式 波の伝わり方 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】波の性質と伝わり方の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】並みの性質と伝わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】並みの性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	1 波 音の伝わり方 【知識及び技能】 音の伝わり方の性質を問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音の性質と伝わり方に関する観察、実験などを行い、問題演習で科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 音の性質と伝わり方に関して、科学的に探求しようとする態度を問題演習で養う	・指導事項 音の伝わり方 音のドップラー効果 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】音の性質と伝わり方について、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】音の性質と伝わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】音の性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするな	○	○	○	7

			ど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考查			○	○		1
	1. 波 光 【知識及び技能】 光の性質と伝わり方について問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 光の性質と伝わり方に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】 光の性質と伝わり方に関して、科学的に探究しようとする態度を問題演習で養う。	・指導事項 光の性質 レンズと鏡 光の干渉と回折 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】光の性質と伝わり方について、原理とその性質を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】光の性質と伝わり方について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 光の性質と伝わり方に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	2 電気と磁気 電場と電流 【知識及び技能】 電場と磁場の関係とその性質について問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電場と磁場に関する調査やデータ解析などを行い、科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】 電場と磁場に関して、科学的に探究しようとする態度を問題演習で養う	・指導事項 静電気力 電位 物質と電場 コンデンサー ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】電場と電流のしくみについて、基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】電場と電流のしくみについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電場と電流のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	定期考查			○	○		1
2 学期	2 電気と磁気 磁場と電磁誘導 【知識及び技能】 電流、磁場の関係と電磁誘導の性質について問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電流、磁場の関係と電磁誘導に関する観察、調査などを行い、科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 オームの法則 直流回路 半導体 磁場 ローレンツ力 電磁誘導の法則 交流回路 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】磁場と電磁誘導のしくみについて、基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】磁場と電磁誘導のしくみについて、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 磁場と電磁誘導のしくみに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするな	○	○	○	12

	電流、磁場と電磁誘導に関して、科学的に探求しようとする態度を問題演習で養う。		ど、科学的に探究しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
	3. 原子 電子と原子 【知識及び技能】 電子の性質と原子の構造、および放射線について問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 電子に関する実験や放射線に関する調査などを行い、電子、原子、放射線について科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】 電子、原子、放射線に関して、科学的に探求しようとする態度を問題演習で養う。	・指導事項 電子 光の粒子性 原子核 核反応と核エネルギー ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 電子と原子の原理及びしくみについて、免疫細胞のはたらきに関する基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 電子と原子の原理としきみについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 電子と原子の原理としきみに関する事象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	4. 総合演習 【知識及び技能】 物理および物理基礎の学習範囲について、原理やしきみを問題演習で理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 物理および物理基礎の学習範囲に関する実験などを行い、科学的に探究する力を問題演習で養う。 【学びに向かう力、人間性等】 物理及び物理基礎の学習範囲に関して、科学的に探求しようとする態度を問題演習で養う。	・指導事項 力と運動 波 電気と磁気 原子 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 物理及び物理基礎の学習内容に関する基本概念を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 物理および物理基礎の学習内容に関する事象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 物理および物理基礎の学習内容に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	学年末考査			○	○		1
							合 計
							70

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用)教科 理科 科目 生物演習
教 科:理科 科 目:生物演習 単位数: 2単位 対象学年組:第 3学年A組
使用教科書:(生物(東京書籍))
教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 生命現象と物質 細胞と物質 【知識及び技能】 すべての生物の細胞には共通性があることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 細胞と物質に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 細胞と物質に関して、科学的に探究しようとする態度を養う。	・指導事項 細胞を構成する成分 生体膜のはたらき 細胞の構造 タンパク質の構造 酵素 生命現象とタンパク質 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】生命現象と物質について、の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】生命現象と物質について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】生命現象と物質に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	1 生命現象と物質 代謝とエネルギー 【知識及び技能】 代謝にはエネルギーが必要なことを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】代謝に関する観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】代謝とエネルギーに関して、科学的に探究しようとする態度を養う	・指導事項 代謝とエネルギー 呼吸 発酵 光合成 ・教材 教科書、補助教材、ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】代謝とエネルギーについて、生物とエネルギーの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】代謝とエネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】代謝とエネルギーに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6

2 学 期	定期考査			○	○		1
	2 遺伝子情報の発現と発生 遺伝情報とその発現 【知識及び技能】遺伝情報の 転写と翻訳のはたらきにつ いて理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】転写と翻訳に関する観 察、実験などを行い、科学的 に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性 等】転写と翻訳に関して、 科学的に探究しようとする態 度を養う。	・指導事項 DNA の複製 遺伝情報の流れ RNA と転写 翻訳のしくみ 遺伝情報の変化 ・教材 教科書、補助教材、 ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】遺伝情報とその発現 について、物質 DNA の構造や物 質としての特徴を理解していると ともに、科学的に探究するために 必要な観察、実験などに関する基 本操作や記録などの基本的な技 能を身に付けている。 【思考・判断・表現】遺伝情報とそ の発現について、問題を見だし 見通しをもって観察、実験などを行 い、科学的に考察し表現してい るなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事 物・現象に進んでかかわり、見通 しをもったり振り返ったりするな ど、科学的に探究しようとしてい る。	○	○	○	6
	2 遺伝子情報の発現と発生 発生と遺伝子発現 【知識及び技能】発生と遺伝 情報の発現について理解す る。 【思考力、判断力、表現力 等】発生と遺伝情報の発現にか かわる観察などを行い、科 学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性 等】遺伝情報の発現 に関して、科学的に探究しよ うとする態度を養う	・指導事項 原核生物の発現調 節 真核生物の発現調 節 動物の配偶子形成 ウニの発生 カエルの発生 選択的遺伝子発現 細胞の分化と遺伝 子 ・教材 教科書、補助教材、 ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】発生と遺伝子発現の しくみについて、遺伝情報の転写 と翻訳の基本概念を理解してい るとともに、科学的に探究するた めに必要な観察、実験などに関 する基本操作や記録などの基本的 な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】発生と遺伝子 発現のしくみについて、問題を見 だし見通しをもって観察、実験 などを行い、科学的に考察し表現 しているなど、科学的に探究して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現のしくみに関 する事物・現象に進んでかかわ り、見通しをもったり振り返ったり するなど、科学的に探究しようとし ている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2. 遺伝子情報の発現と発生 遺伝子を扱う技術 【知識及び技能】バイオテク ノロジーについて理解する。 【思考力、判断力、表現力 等】 バイオテクノロジーに関する 観察、調査などを行い、科学 的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性 等】バイオテクノロジーに関 して、科学的に探究しようとし る態度を養う。	・指導事項 遺伝子を増幅する 技術 塩基配列を解読す る技術 遺伝子組換え技術 の利用 遺伝子組換え技術 の課題 ・教材 教科書、補助教材、 ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】バイオテクノロジー の概念について、体内環境の調 節の基本概念を理解していると ともに、科学的に探究するために必 要な観察、実験などに関する基本 操作や記録などの基本的な技能 を身に付けている。 【思考・判断・表現】バイオテクノ ロジーの概念について、問題を見 だし見通しをもって観察、実験 などを行い、科学的に考察し表現 しているなど、科学的に探究して いる。 【主体的に学習に取り組む態度】 バイオテクノロジーに関する事物・ 現象に進んでかかわり、見通しを もったり振り返ったりするなど、科 学的に探究しようとしている。	○	○	○	13

3 学 期	定期考査			○	○		1
	3. 生物の環境応答 動物の刺激の受容と反応 【知識及び技能】動物の環境 応答のしくみについて理解す る。 【思考力、判断力、表現力 等】 動物の環境応答に関する調 査などを行い、科学的に探 究する力を養う。【学びに 向かう力、人間性等】 動物の環境応答に関して、 科学的に探求しようとする態 度を養う。	・指導事項 刺激の受容と反応 興奮の伝導と伝達 刺激の受容と感覚 中枢神経系 効果器 ・教材 教科書、補助教材、 ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】動物の環境応答のし くみについて、神経系や効果器の はたらきに関する基本概念を理解 しているとともに、科学的に探究 するために必要な観察、実験など に関する基本操作や記録などの 基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】動物の環境応 答のしくみについて、問題を見い だし見通しをもって観察、実験な どを行い、科学的に考察し表現し ているなど、科学的に探究してい る。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の環境応答疫に関する事物・ 現象に進んでかかわり、見通しを もったり振り返ったりするなど、科 学的に探究しようとしている。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	総合演習	・指導事項 問題演習 ・教材 教科書、補助教材、 ワークシート ・一人1台端末の活用	【知識・技能】生物や生物基礎の 学習内容について、基本概念を理 解しているとともに、科学的に探 究するために必要な観察、実験な どに関する基本操作や記録など の基本的な技能を身に付けてい る。 【思考・判断・表現】生物や生物基 礎の学習内容しくみについて、問 題を見いだし見通しをもって観 察、実験などを行い、科学的に考 察し表現しているなど、科学的に 探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物や生物基礎の学習内容に進 んでかかわり、見通しをもったり振 り返ったりするなど、科学的に探 究しようとしている。	○	○	○	13
	卒業レポートの発表			○	○		1
							合 計
							70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語会話
教科: 外国語 科目: 英語会話 単位数: 3 単位 対象学年組: 第3学年
使用教科書: (M's Publishing『English PBL Starter』)
教科 外国語 の目標:

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語会話 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、話すこと、を中心とした実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 【 や 】	話 【 究 】	書					
1 学 期	A 単元 Unit 1 Dream Vacation 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話し	Mission: Make a pamphlet Method: Work by yourself	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。				22

たり書いたりして表現している							○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
【学びに向かう力、人間性等											
○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。											
○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。											
定期考査			○			○		○	○	○	1
A 単元	Mission: Make a poster	○	○	○	○	○	【知識及び技能】	○	○	○	22
Unit2 Wild Animals							○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。				
【知識及び技能】	Method: Work by yourself or in a group						○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。				
○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。							【思考力、判断力、表現力等】				
○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。							○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。				
【思考力、判断力、表現力等】							○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している				
○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。							【学びに向かう力、人間性等				
○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している							○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。				
【学びに向かう力、人間性等							○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。											
○言語やその背景にある文化に対する関心を持											

[illegible]

において活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。							○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
定期考査											1

I 単元 Unit 5 Dream Job 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	Mission: Make a poster Method: Work by yourself or in a group	○ ○ ○ ○ ○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○ ○ ○	13
					合計 10 5

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語演習

教科: 外国語 科目: 英語演習 単位数: 2 単位 対象学年組: 第3学年

教材: (Z会『英文読解 FOCUS 和訳編』、Z会『英文速読ドリル 10minutes』)

教科 外国語 の目標:

- 【知識及び技能】外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を大学入試の場で活用できる技能を身に付ける。難関大学や外国語学部の入試問題を視野に入れた難解な英文を読み取る技能、及び語彙を身に付ける。	外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して大学入試問題に対応する力を身につける。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を理解しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準				配 当 時 数
		聞	読	話 【 話 や 】	話 【 究 】	書					
A 単元 既習文法事項の確認 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話し	・既習文法事項の確認 ・句と節 ・品詞と文の要素 ・接続詞と接続副詞	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。				14

たり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。							○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。					
定期考査			○			○		○	○	○	○	1
A 単元 文構造の理解 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	・文構造の理解 ・重要構文の理解 ・英文和訳、読解演習	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	○	14

	定期考査			○			○					1
	E 単元 重要構文演習 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・重要構文演習 ・英文和訳、読解演習	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等】 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	14
	定期考査		○				○		○	○	○	1
	G 単元 入試問題演習 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題	・入試問題演習 ・重要構文演習 ・英文和訳、速読演習	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から時事問題や社会問題	○	○	○	14

	まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。								○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。				
	定期考査												1
	I 単元 入試問題演習 【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	・入試問題演習 ・重要構文演習 ・英文和訳、速読演習	○	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ○外国語の4技能(聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 ○外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ○場面、目的、状況等に応じて、日常的な話題から時事問題や社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 ○聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している 【学びに向かう力、人間性等 ○他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 ○言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	10
													合計 70

[illegible]

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 保健体育 科目 スポーツ演習

教 科: 保健体育 科 目: スポーツ演習 単位数: 2単位 対象学年組: 第3学年A組

使用教科書: (現代高等保健体育 大修館書店)

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	Aトレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】	・オリエンテーション ・トレーニング理論について ・安全管理について ・トレーニング計画の作成 ・トレーニングの実践 ・トレーニング計画の見直し ・振り返り	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツの技術や戦術、ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていること、特に現代では、テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受け	○	○	○	12

	運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。		ていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮するには、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。				
--	--	--	---	--	--	--	--

		【思考・判断・表現】 ・選択したトレーニングについて、他者や自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。				
B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することをできるようにする。	・オリエンテーション ・次から選択した種目を行う ・ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバード ・ゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。	○	○	○	12

			・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。				
2 学 期	A トレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・トレーニング計画の作成 ・トレーニングの実践 ・トレーニング計画の見直し ・振り返り	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツの技術や戦術、ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていること、特に現代では、テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課	○	○	○	12

			題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが末永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・選択したトレーニングについて、他者や自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した				
--	--	--	---	--	--	--	--

			知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。				
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保することをできるようにする。	・次から選択した種目を行う ・ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバード ・ゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	12

			・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。				
3 学 期	A トレーニング 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技術は、学習を通して技能として発揮されるようになること。また、技術の種類に応じた学習の仕方があること。現代のスポーツの技術や戦術、ルールは、用具の改良やメディアの発達に伴い変わり続けていることを理解できるようにする。 運動やスポーツの技能の上達過程にはいくつかの段階があり、その学習の段階に応じた練習方法や運動観察の方法、課題の設定方法などがあること。また、これらの獲得には、一定の期間がかかることを理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることを理解できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に主体的に取り組むことができるようにする。	・トレーニング計画の作成 ・トレーニングの実践 ・トレーニング計画の見直し ・振り返り	【知識・技能】 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・個々の運動やスポーツを特徴付けている技術は、練習を通して身に付けられた合理的な動き方としての技能という状態で発揮されること、技能には、クローズドスキル型とオープンスキル型の技能があること、オープンスキル型の技能は、対人的な競技などで絶えず変化する状況の下で多く発揮されること、クローズドスキル型の技能は、個人的な競技などで状況の変化が少ないところで多く発揮されること、その型の違いによって学習の仕方が異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・スポーツの技術や戦術、ルールは、用具や用品、施設などの改良によって変わり続けていること、特に現代では、テレビやインターネットなどのメディアの発達などによっても影響を受けていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能の上達過程を試行錯誤の段階、意図的な調整の段階及び自動化の段階の三つに分ける考え方があること、また、これらの段階に応じて、効果的に上達を図るためには、良い動きを参考として自己の課題を設定すること、課題解決のための自己に適した練習方法を選択すること、自己観察や他者観察を通して課題を発見し解決すること、上達に応じて次の課題を設定することといった取り組み方が運動の継続に有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・技能の獲得には、一定の期間がかかることを踏まえ、解決すべき課題を意識した上で、繰り返し取り組むことが安定した技能の定着につながるについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○	○	11

			・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮するには、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際は、気象条件の変化など様々な危険を予見し、回避することが求められること及び、気象条件や自然環境の変化など様々な危険を予見し回避するためには、けがや事故の防止のための対策、発生時の処置、回復期の対処などの各場面での適切な対応方法を想定しておくこと、けがや事故につながりそうな体験から行動や活動環境の修正を図ることが有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷や一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することでスポーツが未永く継続できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・選択したトレーニングについて、他者や自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともにトレーニングを楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。				
--	--	--	--	--	--	--	--

			・運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとしている。				
	B 球技 【知識及び技能】 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することをできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることをできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなど、健康・安全を確保することをできるようにする。	・次から選択した種目を行う ハンドボール・サッカー・フットサル・テニス・ターゲットバードゴルフ・アルティメット・ボッチャ・モルック ・基礎練習 ・個人練習 ・チーム練習 ・ゲーム ・大会	【知識・技能】 ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があり、それぞれの技術、戦術、作戦には、攻防の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的、計画的な練習の方法があることを理解できるようにする。 ・球技の型や種目によって必要な体力要素があり、その型や種目の技能に関連させながら体力を高めることができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームや自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 ・練習やゲームの場面で、チームや自己の危険を回避するための活動の仕方を提案している。 ・練習やゲームを行う場面で、チームや自己の活動を振り返り、よりよいマナーや行為について提案している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 ・体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 ・球技の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・球技の学習に主体的に取り組もうしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。 ・危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	11
							合 計
							70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年)教科 家庭 科目 家庭科演習
教科: 家庭 科目: 家庭科演習 単位数: 2 単位 対象学年組: 第3学年A組
使用教科書:(教育図書『高等学校 家庭基礎 Survive!!』)
教科 の目標:

- 【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭科演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 住生活の金銭理解と管理、について理解し、金額に配慮した住生活について身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 自らの生活スタイルに合致した、収入に見合った住居を考える 【学びに向かう力、人間性等】 住居理論で学んだことを実技(デザイン及びプレゼンテーション)として実践する意欲があるか	・住生活 ・教科書・資料集 ・ICT機器活用	【知識・技能】 これからの住居について、不動産専門用語や費用について理解することができたか 【思考・判断・表現】 間取りや構造など、書面や画像より必要な情報を読み取ることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 住居学で学んだことを主軸として生活実践的にシミュレーションする意欲があり、物件について検索できたか、費用や物件情報に関する知識が身に付いたか	○	○	○	14
	B 単元 【知識及び技能】 栄養学、食生活の知識を活かし調理実践し、技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない調理活動を考える 【学びに向かう力、人間性等】	・食生活 ・教科書・資料集 ・調理実践 ・実技テスト ・期末考査	【知識・技能】 基礎的な栄養素について理解することができたか 【思考・判断・表現】基本的な栄養学を用いて献立作成から実践まで、計画を立て、実習できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活理論で	○	○	○	18

	性等】学んだことを実技として実戦する意欲があるか		学んだことを実技として実戦する意欲があり、実践できたか、安全に調理活動へ向け、準備・片付けができたか				
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 栄養学、食生活の知識を活かし調理実践し、技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で、環境に負荷が少ない調理活動を考える 【学びに向かう力、人間性等】 学んだことを実技として実戦する意欲があるか	・食生活 ・教科書・資料集 ・調理実践	【知識・技能】 基礎的な栄養素について理解することができたか 【思考・判断・表現】基本的な栄養学を用いて献立作成から実践まで、計画を立て、実習できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活理論で学んだことを実技として実戦する意欲があり、実践できたか、安全に調理活動へ向け、準備・片付けができたか	○	○	○	14
	D 単元 【知識及び技能】 家族(集団)の健康と食事 【思考力、判断力、表現力等】 家族や小集団に対し、効率的で、環境に負荷が少ない食生活を考える 【学びに向かう力、人間性等】 栄養学・調理実践で学んだことを主軸として、複数の他者のために調理実戦する意欲があるか	・他者のための食生活 ・教科書・資料集 ・小集団、複数食調理実践 ・複数食調理テスト	【知識・技能】 家族の構成や対象となる小集団について理解し、身体に合った栄養とメニュー構成を身に付けることができたか 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない食生活を考え、調理実践できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活理論で学んだことを実技として実戦する意欲があり、実践できたか、安全に食する準備・片付けができたか	○	○	○	12
	E 単元 【知識及び技能】 これからの日本と世界の食についての知識を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 これからの消費社会の実現に向けて自立した消費者としてどの様に食材を選定し購入すべきか考える 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の難題に対し様々な解決方法を見極める意欲があるか	・これからの食生活 ・教科書・資料集 ・一人1台端末の活用等	【知識・技能】 日本・世界の食現状について理解し、知ることができたか 【思考・判断・表現】 食問題に対し、対策方法を理解し、解決へ向けた方策を理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 食を通して学んだことを実社会で実戦する意欲があり、真に豊かな食生活について主体的に考えることができたか	○	○	○	9
							合計 70

使用教科書: (なし)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽Ⅱ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典的音楽の時代から現代にいたるまでの音楽の発展や変遷に触れ、それぞれの特徴や良さを理解している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、自分なりの意図を表現や鑑賞の活動に反映することができる。	音楽活動に対して積極性をもって授業に取り組む、目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋がられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10
	B 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができる。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	10

	C 歌唱 Nel col piu non mi sento 【知識及び技能】 イタリア語の発音のルールに則り、正確な音程で歌唱している。 【思考力、判断力、表現力等】 強弱やテンポの変化を意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱に対して創意工夫をする態度をもっている。	・プリント	○				・イタリア語の発音のルールに則り、正確な音程で歌唱できている。 ・強弱やテンポの変化を意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱できている。 ・歌唱の活動に対し、創意工夫する態度をもっている。	○	○	○	10
2 学 期	D 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋がられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	15
	E 鑑賞 変奏曲 【知識及び技能】 変奏曲の基本的な構成を理解して鑑賞している。 【思考力、判断力、表現力等】 変奏ごとの違いを聞き取り、特性を言語化して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 楽曲の形式に興味を持ち、分析的な視点で積極的に鑑賞に取り組んでいる。	・プリント				○	・変奏曲の基本的な構成を理解している。 ・変奏ごとの違いを聞き取り、特性を言語化して伝えることができる。 ・楽曲の形式に興味を持ち、分析的な視点で積極的に鑑賞に取り組んでいる。	○	○	○	15
3 学 期	F 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。	○	○	○	5

[illegible]

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に着けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽に合った表現を実現するために必要な歌唱や器楽の基本的な技能を身につけていく。	イメージを膨らませ、音楽に合った表現を創意工夫する思考力と、それを言語や演奏を通して再現する表現力を身につけている。	音楽活動に対して積極性をもって授業に取り組む、目標に合った創意工夫をもって活動できる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 器楽・歌唱 【知識及び技能】 選択した演奏手段に必要な歌唱法・奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 曲想を意識し、明確な意図を持って演奏活動に取り組んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・ピアノ	○	○			・選択した演奏手段に必要な歌唱法・奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できている。 ・曲想を意識し、明確な意図を持って演奏活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	10
	B 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができる。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	10

	C 歌唱 夏の思い出 【知識及び技能】 楽譜の指示を理解し、強弱や音価の違いを正確に読み取って歌唱している。 【思考力、判断力、表現力等】 詞とメロディー、伴奏のかかり合いを意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 【学びに向かう力、人間性等】 歌唱に対して創意工夫をする態度をもっている。	・プリント	○				・強弱や音価の違いを意識して歌唱に取り組んでいる。 ・詞と音楽のかかり合いを意識し、自分なりの表現の意図を持って歌唱している。 ・歌唱の活動に対し、創意工夫する態度をもっている。	○	○	○	10
2 学 期	D 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋がられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム		○			・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。 ・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。	○	○	○	15
	E 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の考えを正確に相手に伝えようとする態度をもっている。	・スピーカー ・一人一台端末				○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができる。 ・自分の考えを相手に伝えようと努力する態度がある。	○	○	○	15
3 学 期	F 器楽 【知識及び技能】 選択した楽器の基本的な奏法を身に着け、楽譜の指示を理解できる。	・エレキギター ・エレキベース ・ドラム					・選択した楽器の基本的な奏法が身についている。 ・楽譜の指示を理解している。 ・練習方法を自分なりに工夫して活動に取り組んでいる。	○	○	○	5

【思考力、判断力、表現力等】 効率的な練習方法を模索し、演奏技術の向上に繋がられている。 【学びに向かう力、人間性等】 演奏活動に積極的な姿勢を持つ。また、演奏発表までのスケジュールに見通しをもって活動できている。			○		・演奏活動に積極的な姿勢を持っている。					
G 鑑賞 【知識及び技能】 楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を養う。	・スピーカー ・一人一台端末			○	・楽曲の構成や楽器編成、属するジャンル等の基本的な知識を持っている。 ・楽曲の特徴や傾向を捉え、経験則や知識から根拠づけて自分なりの言葉で表現することができている。 ・様々な地域、ジャンルの音楽に親しむ態度を持っている。	○	○	○	5	合 計 70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 芸術 科目 視覚デザイン

教 科: 芸術 科 目: 視覚デザイン

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3学年 A組

使用教科書: (なし)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 視覚デザイン の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジュアルデザインの幅広い活動を通して、視覚的な伝達効果について理解を深めるとともに、専門的な技能を身につけるようにする。	社会におけるデザインの機能や効果、表現形式の特性などについて考え、目的や条件、美しさとともに個性豊かで創造的な表現の構想を練り、思考力、表現力等を育成する。	主題に合った表現方法を創意工夫し、ビジュアルデザインの可能性を追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵・彫	デ	映						
1 学 期	・ガイダンス(1年間の目標) F ストップモーション・アニメの制作 【知識及び技能】スマホの画像編集アプリを使いコマ撮りアニメをつくる 【思考力、判断力、表現力等】絵コンテをつくりストーリー展開を計画的に発想する 【学びに向かう力、人間性等】冒頭アニメの名作を鑑賞しその動画技術を参照する	・ビジュアルデザインの概要 ・指導事項 まず画像を動かすことから始めよう スマホアプリを使って身の回りのものが動く様子を確認する アカデミー賞を受賞した「つみきの家」を鑑賞し作品制作に入る	○	○			・ 【知識及び技能】アプリの基本動作を確認し使いこなしているかを評価する 【思考力、判断力、表現力等】ストーリー性は確保したか 【主体的に学習に取り組む態度】積極的にデザイン表現の創造活動に取り組もうとしている 完成後、上映会を実施し互いに感想を出し合う	○	○	○	16
	○ キャラクターデザイン演習 【知識及び技能】キャラクターを設計するうえで必要	・指導事項 ディズニーキャラクターはどのようにしてつくられているか資料を参照する	○			○	【知識・技能】意図に応じて表現方法を工夫して画材の特性を生かして見通しをもって創造的に制作している	○	○	○	12

	な要素、伝達したい情報やイメージなどを捉えキャラクターをつくっていく 【思考・判断・表現】人体比例やコスチュームデザイン、透視図法などを参照しながら創造性豊かに表現する 【学びに向かう力、人間性等】キャラクターの性格設定や伝達効果について主体的に取り組む	・教材 鉛筆(基本的に2Bを使用)、アイデアスケッチ用紙+八つ切り画用紙、定規、コンパス、PC等				【思考・判断・表現】キャラクターのコンセプト設定に必要な要素を漏れなく実行しているか 【主体的に学習に取り組む態度】キャラクター表現の創造活動に創意工夫し積極的に取り組んだか					
	D 配色の応用 【知識及び技能】色彩の性質をよく理解し、色彩の様々な心理的効果へとつなげる 【思考力、判断力、表現力等】配色の基本をベースに色彩調和への理解を深める 【学びに向かう力、人間性等】現代の生活空間における色彩計画の重要性について関心を高める	・指導事項 色彩の基本的性質と配色パターン ・教材 色彩検定3級問題集 配色カード(日本色研) ・アクリルガッシュ、鉛筆、定規、コンパス、ワークシート等	○			○	【知識・技能】色彩の性質を理解し、創造的で個性的な表現世界へ展開することができたか 【思考・判断・表現】色の組み合わせによって千変万化な効果を生むことに気づき、これを応用することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】色彩への理解について意欲的に取り組むことができたか	○	○	○	4
2 学期	E 文化祭(黒潮祭)のポスターの制作 【知識及び技能】ポスターに関する多くのビジュアル資料を検討しアイデアをまとめる 【思考力、判断力、表現力等】文字の書体、大きさ、配色を考え、絵柄と組み合わせる	・指導事項 メッセージを伝えるポスターをつくらう 鉛筆、メモ用紙、色鉛筆、水彩絵の具、アクリルガッシュ、ケント紙、図書資料		○			【知識及び技能】タイポグラフィ、イラスト、全体構成(とくに色彩計画)はまとまったか 【思考力、判断力、表現力等】アイデアスケッチから完成まであきらめず努力をつづけたか 【主体的に学習に取り組む態度】このポスターがどこに貼られ、どのような人が見ることを想定していたか	○	○	○	14

[illegible]

	などについて多様な視点から考え、見方や感じ方を深める 【思考力、判断力、表現力等】ストーリーを要約し簡明に文章化することができる 【学びに向かう力、人間性等】感動した場面を率直に感想文で表明することができるか	因について意見交換し互いに考察する ・教材 上映作品（スタジオジブリ作品）					【思考力、判断力、表現力等】想像をめぐらし製作者の制作意図をどこまで理解し見方や感じ方を深めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】海外のアニメ作品の歴史や文化的価値を感じ取り、日本と比較し、その見方や感じ方を深めることができたか				
--	---	---	--	--	--	--	---	--	--	--	--

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年) 教科 芸術 科目 工芸演習
教 科: 芸術 科 目: 工芸演習 単位数: 2単位
対象学年組: 第3学年 A組
使用教科書: (なし)

教科 芸術 の目標:

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工芸の幅広い創造活動を通して、対象や事象を捉える造形的視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 彫	デ	映						
1 学 期	A オリエンテーション B 彫刻刀の基本的技法 【知識及び技能】彫刻刀など木彫表現に必要な用具や素材についての知識や技法を習得する 【思考力、判断力、表現力等】素材感を生かした表現力を発揮できるようになる 【学びに向かう力、人間性等】参考資料などの木彫作品を美しいと感じ、自らの表現意欲に結びつけ、主体的に取り組ませる	・工芸とはなにか 伝統工芸と工業デザイン ・指導事項 彫刻刀を使いこなす ・教材 ・彫刻刀(基本的に5本組を使用)、ICT端末、シナ合板、ワークシート等	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の材質や質感を味わいつつ創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	8

	C さまざまな木彫技法① 【知識及び技能】彫刻刀による木彫表現を学び、イメージした形を実現する技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】平面では不可能な独特なレリーフ的空間表現を理解し実現する 【学びに向かう力、人間性等】複合的に図形を組み合わせたデザインに積極的に取り組んだ	・指導事項 彫刻刀のトレーニング(基本的な幾何図形を彫る) ・教材 シナ合板 ・彫刻刀(基本的に5本組を用)ワークシート等	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の素材感や質感を鑑賞する創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	12
	D さまざまな木彫技法② 【知識及び技能】彫刻刀による木彫表現を学び、イメージした形を実現する技術を習得する 【思考力、判断力、表現力等】平面では不可能な独特なレリーフ的空間表現を理解し実現する 【学びに向かう力、人間性等】複合的に図形を組み合わせたデザインに積極的に取り組んだ	・指導事項 木箱を彫る ・教材 六角箱(白木) ・彫刻刀(基本的に5本組を用)ワークシート等 幾何形体で箱全体を装飾する いままで取り組んだ技法を駆使して集大成とする	○			○	【知識・技能】さまざまな工芸の表現方法、技法を創意工夫し、作品制作に生かしているか 【思考・判断・表現】木彫技法の良さや美しさを感じ発想や構想の独自性と表現の工夫について多様な視点から考え、見方や感じ方を深めている 【主体的に学習に取り組む態度】木という素材の素材感や質感を鑑賞する創造的な諸活動に主体的に取り組もうとしている	○	○	○	16

	造的に表すことができる 【思考力、判断力、表現力等】造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きについて考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育む	形的な見方、考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会のなかの工芸や工芸の伝統や文化と幅広く関わる資質・能力を身に着けることができたか					美しさを感じ取り感性を高めることができたか 【主体的に学習に取り組む態度】工芸の創造活動に主体的に取り組んできたか また生涯にわたり工芸を				
--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年) 教科:進路実現 科目:進路実現 A

使用教科書:なし 使用教材:なし

教科:進路実現の目標:

【知識及び技能】希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンテーションすることができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

科目 進路実現 A の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。	希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。	進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元:志望校を確定に必要な情報を集める。 【知識及び技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 各自の志望理由書などを生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材:ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考・判断・表現】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元:小論文プレゼン対策1 【知識及び技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。	・指導事項 生徒個々で書いた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。	【知識・技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7

【思考力、判断力、表現力等】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
C 単元：小論文プレゼン対策2 【知識及び技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 生徒個々で書き上げた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
D 単元：自身のキャリアプランを明確にし、それを文章表現できる力を身につけた上で志望校の出願に必要な書類を作成する。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	・指導事項 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7

2 学 期	A 単元:出願準備 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元:面接対策 【知識及び技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝えようとする。	○	○	○	10
	C 単元:専門分野の教養を身に付ける。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組むことができる。	○		○	7
3 学 期	A 単元:進路講話の準備 【知識及び技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○		8

	自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。		自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。				
	B 単元: 主体性のあるボランティア活動 【知識及び技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行する。 【学びに向かう力、人間性等】 地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加する。	・指導事項 クラス、学校、地域を対象に卒業前に主体的に計画し目的意識をもちボランティア活動を実施する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加することができる。	○		○	10
							合 計
							70

年間授業計画

東京都立神津高等学校 令和6年度(3学年) 教科:進路 科目:進路実現 B

使用教科書:なし 使用教材:

教科:進路実現 A の目標:

【知識及び技能】希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンテーションすることができる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

科目 進路実現 B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
希望する進路実現に向けて自分のキャリアプランや考えを多彩に表現するために必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。	希望する進路に応じて、専門分野に関わる社会問題など課題を設定し、思考を深め、他者と協働し、話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。	進路や自分自身に関することについて興味を持ち、進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元: 志望校を確定に必要な情報を集める。 【知識及び技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 各自の志望理由書などを生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材: ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 志望校のオープンキャンパスの情報やアドミッションポリシーなどを読み、志望校の特徴や求める人物像を理解する。 【思考・判断・表現】 自分の希望と照らし合わせ、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、志望理由書を誤字脱字なく読み手の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	B 単元: 小論文プレゼン対策1 【知識及び技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】	・指導事項 生徒個々で書いた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。	【知識・技能】 必要な専門的な語彙や教養を身につけ、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、文章作成する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】	○	○	○	7

	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら情報を収集、整理する中で、課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進路実現に向けて意欲的に活動に取り組み、誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
	C 単元：小論文プレゼン対策2 【知識及び技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる。	・指導事項 生徒個々で書き上げた小論文を生徒相互で批評するなどのグループワークを行う。 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 専門的な語彙や教養を使い、語感を磨き、文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 進路に関わる社会問題など課題を設定し、思考を巡らし、他者と話し合いながら課題解決に向け自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に活動に取り組み、志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
	D 単元：自身のキャリアプランを明確にし、それを文章表現できる力を身につけた上で志望校の出願に必要な書類を作成する。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	・指導事項 ・教材：ワークシート、授業プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。	○	○	○	7
2 学 期	A 単元：出願準備 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考え	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて適切な言葉遣いや表記で文章作成やプレゼンする技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、情報を収集、整理する中で、自分の考え	○	○	○	7

	を深めそれを分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げる		を深めそれを分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に志望校の願書などの提出書類を誤字脱字なく読み手側の視点になってきちんと書き上げようとする。				
	B 単元:面接対策 【知識及び技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝える。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 進路実現に向けて、自身のこれまでの経験と今後のキャリアプランをプレゼンテーションする技能および、面接官と適切なコミュニケーションができる力を身につける。 【思考・判断・表現】 希望する分野に応じて、関連する情報を収集、整理する中で、自分の考えを深めそれを他者に分かりやすく表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 意欲的に聞き手の視点になって自分の考えを伝えようとする。	○	○	○	10
	C 単元:専門分野の教養を身に付ける。 【知識及び技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組む。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 希望する進路実現に向けて、継続して粘り強く必要な知識を身に付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 継続して粘り強く進路実現に向けて取り組むことができる。	○		○	7
3 学 期	A 単元:進路講話の準備 【知識及び技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し適切な言葉遣いや表記で、文章作成やプレゼンテーションする技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 自身の進路活動を振り返り、必要な情報を集め、整理し、他者分かりやすく自身の進路活動を説明する。	○	○		8
	B 単元:主体性のあるボランティア活動 【知識及び技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行する。	・指導事項 クラス、学校、地域を対象に卒業前に主体的に計画し目的意識をもちボ	【知識・技能】 クラスや学校、地域社会の現状を理解し、計画的にボランティア活動を実行することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○		○	10

	【学びに向かう力、人間性等】 地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加する。	ランティア活動を実施する。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	地域社会、学校の集団の構成員として、意欲的にボランティア活動に参加することができる。				
							合 計 70